



どうしょくぶつ
たかちほ動植物
ガイドブック
たかちほまち せいそく
高千穂町に生息するいきものたち

たかちほ動植物ガイドブック 高千穂町に生息するいきものたち

もくじ

しよくぶつ 植 物	4
ほにゆうい 哺乳類	24
ちようい 鳥 類	30
りようせい 両生類	47
はちゆうい 爬虫類	47
こんちゆうい 昆虫類	57
かいるい 貝 類	96



どうしょくぶつ
たかちは 動植物
ガイドブック

たかちほちょう せいそく
高千穂町に生息するおもしろいものたち

高千穂町
takachiho



はじめに

みなさんは高千穂町にいるいきもの達をどれぐらい知っていますか？

このガイドブックでは、みなさんが住んでいる高千穂町に生育・生息しているいきもの達 211 種を紹介しています。身近な家の周りで見られるいきものから、とても珍しくてなかなか見つけることができないいきものまで、いろいろないきもの達を紹介していますので、この本を片手にいきもの達を探しに出かけてみてください。きっとこの本に出てくるいきもの達に出会うことができますよ。そしてもっと探せば、この本には出てこないいきもの達にも出会うことができるはずです。この本とおして、たくさんのいきもの達との出会いを楽しんでくださいね。

この本の使い方

この本では、紹介する動植物について、1種ずつ和名、学名、科名、環境省レッドリスト、宮崎県レッドリスト、生育・生息環境（該当する環境に○印）、本文、本文（いきものの解説）、写真を掲載しています。

和名
生物種の日本語の名前です。

学名
生物種の世界共通の名前です。

科名
生物種の属する上位グループの名前です。

宮崎県RL
2020年版の宮崎県レッドリストを示しています。

環境省RL
2020年公表の環境省レッドリストを示しています。

ニホンカモシカ

Capricornis crispus

ウシ科

環境省 RL： 地域個体群
宮崎県 RL： 絶滅危惧 II 類

河川		宅地		農地				森林								
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田	草地	林縁	落葉	針葉	照葉	雑林	クヌギ	竹林	伐跡
											○	○	○			

シカに似た大型の哺乳類で、主に山地で生活しています。名前にシカとありますが、ウシの仲間です。なわばりを持ち、その中で単独もしくは親子で暮らしています。シカと異なり「ため糞」をすることが大きな特徴です。山地の岩場を好んでいましたが、シカの増加に伴いカモシカのエサも減少し、里地に降りてくるが増えました。直近の調査では、高千穂町周辺のカモシカは19-24頭と推定されており、危機的状況にあります。



生育・生息環境
該当する生育・生息環境に○を付けています。

本文
生物種の簡単な特徴などを説明しています。

写真
生物種の写真です。

高千穂町の地形と主な山名

(国土地理院の地理院タイル(色別標高図)を加工して作成)



高千穂町の地区名

アキノキリンソウ

キク科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Solidago virgaurea

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○	○				○		

日当たりのよい道ばたの土手や林の下に生え、秋に明るい黄色い花を多数つけます。高さは35-60cmあり、葉は卵形か長楕円形をしています。葉先は鋭く、元のほうは斜めに狭くなります。葉の裏に網目模様があり、葉のふちにギザギザ(きよ歯)があります。北海道から九州と朝鮮半島に分布します。町内では秋になると里山で普通にみられます。



アズマイチゲ

キンポウゲ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IA 類

Anemone raddeana

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○								

田畑の土手や農道わきの斜面に生えます。全体的に青緑色を帯び、高さは15-20cm、葉は3枚つきます。葉にはきよ歯があります。深くは切れ込みません。早春に、幅約3cmの白色の花を茎の先端に1個つけます。花のあと地上部は枯れて地下茎として翌年の春まで休眠します。春の短い間にしかその姿を見ることができない春植物(スプリングエフェメラル)のひとつです。北海道から九州などに分布。高千穂では郊外の草地に分布します。



イチイガシ

ブナ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Quercus gilva

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
												○			

照葉樹林を代表する樹木です。土壌が深く安定した丘や山地に生えます。葉は先端が尖り、上半分の縁には鋭いきよ歯があります。裏は黄褐色の短い毛が密し、白っぽく見えます。樹高は約30m、幹の直径が2mに達するほどの大木になります。樹皮は樹齢を重ねると、うろこ状にはげます。材は建材のほか、様々な器具に使われます。町内の神社の林によくみられます。本州（関東から西）、四国、九州、济州島、台湾、中国に分布します。



イチリンソウ

キンポウゲ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：準絶滅危惧

Anemone nikoensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○					

明るい落葉樹林の下や土手の斜面に生えます。三角状の葉を3枚つけ、それぞれの葉はさらに羽根のように深く裂けます。花の茎は20-30cmあり、春の早い時期に先端に4cmほどの白い花を1輪つけ、これが名前の由来となっています。初夏に地上部が枯れる、いわゆる春植物（スプリングエフェメラル）のひとつです。町内の土手や山地の林縁にニリンソウなどと一緒に春に一斉に咲きます。本州、四国、九州に分布します。



ウチワダイモンジソウ ユキノシタ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Saxifraga fortunei

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○														

渓谷のしめった崖や岩の上に生えます。葉の長さは2-5cmあり、横幅より縦のほうが長く先の部分は広くなり基部はくさび型になりうちわのような形をしています。葉の先はいくつか切れ込みが入り、花はダイモンジソウに似ていますが葉の形が異なります。花は9-10月ごろ咲き、白い花びらが大きい字のように見えることからこの名がつけられました。五ヶ瀬川の渓谷の大きな岩の上に群生します。本州、四国、九州、屋久島に分布します。



エビネ

ラン科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Calanthe discolor

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○		○	○	○	

しめり気のある林の下に生え、高さは30-50cmです。根元には、球状に肥大した地下茎ができ、この形がエビの尾に似ているのでこの名がつけられました。幅のある葉を数枚つけ、4-5月ごろ花茎の上部に10数個の紫褐色の花をつけます。古くから栽培され多くの園芸品種があります。かつて観賞用として各地で乱獲され、生育地が失われましたが、近年ブームが去り、やや増えつつあります。北海道南部から九州にまで分布します。



オミナエシ

スイカズラ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Patrinia scabiosifolia

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							

日当たりのよい草地に生え、高さは1mほどで数本の茎をまっすぐ伸ばして株立ちになり、葉は対生し羽状に小さく分かります。夏から秋に花をつけ、黄色の小さな花が上に平らに並んで咲くのでよく目立ちます。秋の七草の一つで、「女郎花」と書き、同じ仲間のオトコエシに比べ優しい感じがするのでこの名がつけました。日本では古くから親しまれ、生け花などに利用されます。町内の山地の草原や林のはずれなどで見ることができます。



カノコソウ

スイカズラ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Valeriana fauriei

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							

しめり気のある草地に生え、茎は直立し高さ40-80cmあり、節に白い毛があります。葉は対につき、7つほどの小さい葉に分かれます。5-7月ごろ茎の上部に細かい淡い紅色の花を多数つけ、花の様子が染色の一種のかのこ絞りに見えるのでこの名がつけました。花の形が似ているので、ハルオミナエシともよばれます。北海道から九州、台湾、朝鮮半島などに分布します。町内では、道路わきの斜面や耕作地の土手に群生します。



カワラナデシコ

ナデシコ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：絶滅危惧 II 類

Dianthus superbus var. *longicalycinu*

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○							○	○						

かわら は 河原に生えて、かわいい花をなでしこということからこの名がつけました。高さは 50-100cm あり、枝分れします。全体が白っぽい緑色を帯び、細い葉をつけます。6-9 月に淡い赤紫の花を茎の先につけます。秋の七草の一つで、別名「大和なでしこ」ともよばれます。近年、草刈りなどが行われなくなり、樹木の侵入による草原の減少や園芸用の採取、自生地の開発等により個体数が急激に減少しています。本州、四国、九州などに分布します。



キスミレ

スミレ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：絶滅危惧 IA 類

Viola orientalis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
							○								

ひ あ 日当たりのよい丘のススキやササなどの広がる草原に生え、高さは 10-15cm あります。心形の葉を 3-4 枚つけ、葉の縁には波状のきよ歯があります。4-5 月ごろ丸みのある黄色の花をつけ、スミレの仲間で黄色の花をつけるのでこの名がつけました。自生地の草原が減少しているため、近年少なくなりました。大陸系の要素の植物で、町内では山地の草原に自生します。本州（東海以西）、四国、九州、朝鮮半島、中国、ウスリーに分布します。



キレンゲショウマ

アジサイ科

環境省 RL：絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL：絶滅危惧 IB 類

Kirengeshoma palmata

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
										○			○			

落葉樹林下のややしめった土地に生え、高さは1m前後です。幅15cmほどのてのひら状の葉をつけます。夏に、つりがねの形をした黄色の3cmほどの花を茎の先に数個着けます。キンポウゲ科のレンゲショウマに対してこの名がつけました。シカの食害により各地で減少しました。本州（近畿地方以西）、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布します。町内では山地のスギ林に自生地があり、地元の人により手厚く保護されています。



クマガイソウ

ラン科

環境省 RL：絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL：絶滅危惧 IB 類

Cypripedium japonicum

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
										○		○	○			

林の下にまとまって生え、茎の高さは約30cmあります。上部の葉は大きく、おうぎ形をしていて幅は10-20cmほどあり、放射状の脈が見られます。下部の数個の葉はさや状につき、花は4-5月ごろ茎の先端に1個つきます。花弁は大きな袋状になり、淡い白色で赤紫の筋が見られます。北海道から九州、中国に分布します。町内では山地で見られ、鳥屋岳ではスギ林の下で大群落が保護され、自生地は宮崎県の天然記念物に指定されています。



ケシロヨメナ

キク科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 IA 類

Aster leiophyllus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○						

秋に咲くヨメナの仲間、ヨメナは花の色が青紫色ですが、シロヨメナは花弁が白色です。このシロヨメナの仲間、茎や葉に毛が多いのがこの種の特徴です。高さは約50cmぐらいで花はシロヨメナと変わりません。葉を手で触ると毛があるためザラツとし、ルーペで見ると毛があるのがよくわかります。本州中部以西、四国、九州に分布します。町内では溪谷や山地の崖に見られます。



ケヤキ

二レ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Zelkova serrata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
										○		○				

日本を代表する落葉樹で、山地里山や溪谷に多く見られます。樹皮はなめらかですが、大木になると鱗状にはがれます。樹形が整っていて秋の紅葉が美しいため、街路樹や庭園樹として植えられています。材は木目が美しいため家具、彫刻材、楽器などに利用されます。本州、四国、九州などに分布します。二上山の天然ケヤキ林は希少個体群保護林となっています。また、下野八幡宮のケヤキは国の天然記念物に指定されています。



サイヨウシャジン

キキョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Adenophora triphylla

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							

日当たりのよい土手や草地に見られます。高さ1mほどになり、葉は3~4枚が茎の周りにつき（輪生）、秋になると、つりがね型で青紫色の花が枝の先に数個つきまします。本州に分布するツリガネニンジンに似ていますが、花の先がやや狭まり、めしべの先端が花の筒より長く突き出る点などがツリガネニンジンと異なります。ツリガネニンジンの南方型といわれ、本州（中国地方）、四国、九州、琉球、中国、台湾に分布します。



シコクフクジュソウ

キンポウゲ科

環境省 RL : 絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IA 類

Adonis shikokuensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○						

落葉樹林の下に生え、高さは10-20cmあり、旧正月のころに開花するので福寿草と呼ばれます。茎の先に3cmほどの黄色い花を1輪つけ、がくの長さは花びらと同じかやや短いですが、かつてはフクジュソウと呼ばれていましたが、近年、日本にはフクジュソウの仲間は4種類あることがわかりました。向山の山中に自生地があり、宮崎には2か所自生地が知られています。宮崎県の天然記念物です。本州、四国、九州に分布します。



シシウド

セリ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Angelica pubescens

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○						

日の当たる草原や山ろくに生えます。大型の植物で、茎は高さが1-2mあり太くて直立し上部で枝分かれます。葉はいくつかの切れ込みがあり、葉のつけねが袋状にふくらみます。和名は獅ウドで、ウドに似た葉をもち、大型であるのでこの名がつけました。夏から秋にかけて茎の上に白い花を多数つけ、集合した花が傘のように広がりが、よく目立ちます。本州、四国、九州に分布します。町内の山地の草原に多くみられます。



シマカンギク

キク科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Chrysanthemum indicum

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○					

日当たりのよい山ろくや土手の斜面に生えます。茎は高さ30-80cmあり、根元は倒れていますが、上部は立ちあがり枝分かれます。葉は楕円形をしていて、5つの切れ込みが入っています。秋に径2cmほどの黄色の花を枝いっぱいにつけ、冬でも花が残るのでカンギクの名がつけました。海岸に多いノジギクの仲間です。本州(近畿地方から西)、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布します。



シロバナタンポポ

キク科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Taraxacum albidum

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							

田んぼの土手や、空き地に生え、根元から切れ込みのある葉を地面に広がります。春、葉の中央から花茎をだし、先に4cmほどの白い花を1個つけます。よく見かける外来種のセイヨウタンポポは、花は黄色で花を包む外側の総苞片が反り返りますが、シロバナタンポポはほとんど反り返りません。近年、環境変化に強いセイヨウタンポポの分布地が広がり、シロバナタンポポは少なくなってきています。本州（関東以西）、四国、九州に分布します。



スズタケ

イネ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Sasa borealis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○	○	○	○	○	○

竹はタケノコが成長して若竹になるとき、竹の皮（稗鞘）が落ちるものをタケ、皮がいつまでも茎（稗）についているものをササと呼んで区別しています。スズタケはタケと名がついていますが、ササの仲間です。里山から高地までどこにでも見られ、高さ1-2m、茎は細く、節と節の長さより皮（稗鞘）が長いのが特徴です。近年、シカに食べられ激減していますが、高千穂は他の地域に比べると多く残っています。



タカチホガラシ

アブラナ科

環境省 RL : 絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IA 類

Cardamine yezoensis var. *kiusiana*

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○														

高千穂の名のついでに、川岸の斜面の水のたたり落ちるような場所に生えています。タネツケバナの一種で、高さは40cmほどになります。いくつかの葉がつき、1枚の葉が3-5対の小葉に分かれますが、先端の小葉と横につく小葉の大きさがほぼ同じで、他のタネツケバナと異なります。5-6月に小さい白い花を数つけます。五ヶ瀬川に2か所自生地が知られています。四国、九州（宮崎県、熊本県）に分布します。



ツガ

マツ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Tsuga sieboldii

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○				

山地の尾根や斜面のやせた土地に生えます。標高600mくらいから見られますが、本来は1000m以上の高地に群落が分布します。常緑の高木で高さ20mを超え直径60cmほどになります。樹形は円錐形ですが、同じ常緑針葉樹のモミに比べるとややまとまりがありません。葉は長さ1-2cmで線形です。葉の先端が凹みですが、モミのようにとがりません。松かさ（球果）は下向きにつきます。本州（福島県以南）四国、九州に分布します。



ツクシアケボノツツジ ツツジ科

環境省 RL : 準絶滅危惧
宮崎県 RL : 保護上重要種

Rhododendron pentaphyllum

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○				

山地の岩場や明るい林に生え、高さは3-6mです。葉は枝の先に5枚輪のようにつき（輪生）、縁には毛があります。4-5月、ロート状の淡い紅紫色の花をつけます。本州、四国に分布するアケボノツツジに似ていますが、花の柄に長い毛があり、おしべに毛がないなどの点が異なります。九州に分布し、明け方（あけぼの）の空の色に例えてこの名がつけました。祖母山系や二上山で見られ、花の時期には山がピンクに染まります。



ツクシアザミ キク科

環境省 RL : -
宮崎県 RL : -

Cirsium suffultum

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○						○

秋に畑の土手や山地の草原に群生します。葉には根元から出る葉と茎につく葉とがあり、根元から出る葉は、花の時期には枯れるのがこのアザミの特徴です。葉は羽状に裂け、縁に鋭いとげがあり、表面には葉脈に沿って白い模様があります。花は、つりがね形で外側のガクにあたる部分は反り返り、先がとがります。花は紫紅色で2cmを超えます。九州、四国に分布し、町内では秋に見られるアザミはほとんどがツクシアザミです。



ツクシシオガマ

ハマウツボ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Pedicularis refracta

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							

山すその草原や耕作地の土手に生えます。高さ15-40cmぐらいあり、柔らかい白い毛が全体に生えています。葉は数枚、茎を取り巻いて付き、縁は羽状に深く裂け、長い楕円形で長さ5cm、幅1cmほどです。花は5月、茎の周りに3-4個ずつ数段にわたってつきます。シオガマの仲間は夏から秋に花を咲かせますが、ツクシシオガマだけは春に咲きます。九州中部や台湾の高原に生えます。町内の山地の草地では普通にみられます。



ツクシシャクナゲ

ツツジ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 保護上重要種

Rhododendron japonheptamerum

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○						

祖母山や親父山などの高い山に生え、常緑の低い木で高さは約3mほどです。葉は長さ15cmほどあり、枝の上部に集まってつきます。表面にはつやがあり、裏側は赤褐色のピロード状の毛が密生します。5-6月ごろ枝先に淡い紅色の花を多数つけ、ロート状の花の大きさは5cmくらいで、先は7つに裂けます。まれに白色のものがあります。本州（近畿地方）から南、四国、九州に分布します。



ニリンソウ

キンボウゲ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：準絶滅危惧

Anemone flaccida

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○					

落葉樹林の下や林の周辺、溪流沿い、土手斜面などのやや湿り気のあるところにも生えます。葉は3つに分かれ、さらに細かく分かります。春、1本の茎から2本の花の茎が伸び、先に白色の花を1-2個つけます。これが名前のもとになっています。地上部は夏には枯れる春植物（スプリングエフェメラル）の一つです。北海道から九州などに分布し、町内では山すその草地や耕作地の土手などで群落を見ることができます。



ハガクレツリフネ

ツリフネソウ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Impatiens hypophylla

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○			

山地の林の下などの湿った場所に群生します。緑色の葉は楕円形で、縁はギザギザ（きょ歯）があります。夏から秋、葉の下にある柄の先に薄紅紫色で斑点がある花をつり下げます。仲間のツリフネソウの花は葉上に咲きますが、この花は葉の下につき、かくれたように見えるのでハガクレの名がつけました。花のうしろに、きょ（距）というしっぽのような器官があります。本州、四国、九州に分布し、町内の山地ではどこでもよく見られます。



植
物

ハルリンドウ

リンドウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 II 類

Gentiana thunbergii

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○								

日当たりのよい草地に生えます。高さ10cmほどで、根元から出る葉（根生葉）と茎につく葉（茎葉）とがあり、根生葉は2cmほどの卵型でロゼット状につき、茎葉は1cmほどで細いです。茎は根元から枝分かれます。3-5月ごろ茎の先にロート状で青紫色の花を1個つけ、花は日が当たると開きます。よく似たフデリンドウには根元から出る葉はありません。北海道から九州などに分布し、町内では郊外の山地の草地に自生します。



ヒメユリ

ユリ科

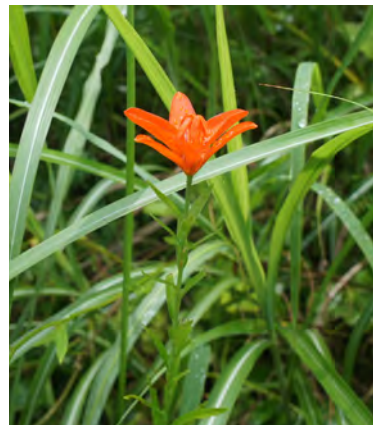
環境省 RL： 絶滅危惧 IB 類

宮崎県 RL： 絶滅危惧 IA 類

Lilium callosum

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							

山地の草原に生えます。茎は直立し高さ80cm近くに達し、細い葉が多数つきます。花は7月に咲き、径6cmほどの赤色で、ロート状をしていて上向きにつきます。花には濃い色をした斑点があります。周りの緑の中で赤い花は目立ちます。四国、九州、朝鮮、中国、アムールに分布します。鑑賞目的の採取や草原の減少やシカの食害などで減少しました。県内では高千穂にしか見られない大変貴重な植物です。



ブナ

ブナ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：準絶滅危惧

Fagus crenata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○					

日本の温帯林を代表する樹木で、高さ25m、直径1mほどの大木になります。二上山、親父山、祖母山などの900m付近から高いところに分布します。樹皮は灰白色でなめらかです。葉は4cmぐらいの卵形で縁は波打ち、葉脈は平行で7-11対あります。北海道、本州、四国、九州に分布します。新緑や紅葉がきれいです。シカの食害により幼木が育たなくなり、また、大気汚染や土地の乾燥化等により各地のブナ林が減少しています。



ミズナラ

ブナ科

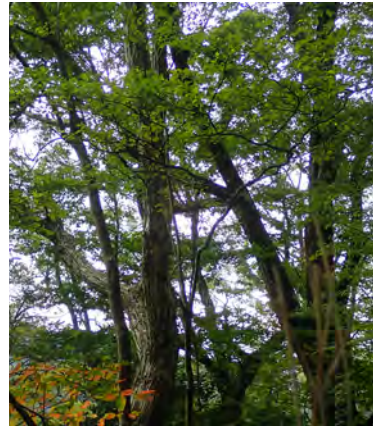
環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Quercus crispula

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○					

ブナと同じ温帯林を代表する落葉樹で、高さ30m、幹の直径は1.5mを超えます。樹皮は褐色がかかった灰色で、縦に深い溝があります。葉は10cmぐらいあり、倒卵形で、基部はせまくなり耳状となり短い柄がつき、縁には大きなギザギザ（きよ歯）があります。ドングリは長さ2-3cm、幅1.2-1.5cmの大きさです。北海道から九州などに分布し、海拔800mから高い所に分布します。キノコの原木、高級家具や炭の材料として利用されています。



モミ

マツ科

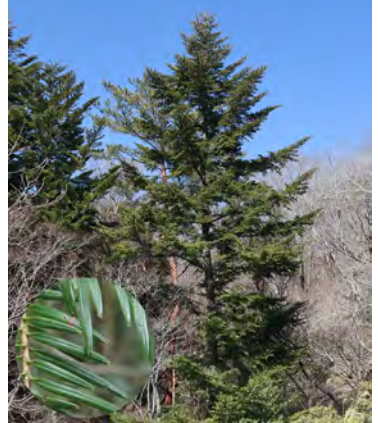
環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Abies firma

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○				

常緑の高木で、低山地から高山まで分布しますが、分布の中心は700-1000m前後の高地です。高さ25m、直径1mに達し、樹形は円錐形で整っています。葉は2-3cmの線形で先端がへこみ、鋭くつがっています。松かさは円柱形で枝の上につきまます。ツガと似ていますが、モミの方が葉のつき方がやや整っています。本州、四国、九州、屋久島まで分布し、クリスマスツリー、かまぼこ板やひつぎなどにも利用されています。



モロツカウワミズサクラ バラ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Padus nakatake

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○								○						

谷川の水際に生える高木で、2012年に諸塚村で発見され、その後高千穂町に広く分布していることがわかりました。葉のきよ歯がとがらず、密腺と呼ばれる部分が大きくて目立ち、葉の基部についているがウワミズサクラと異なります。花は4-5月頃咲き、6mm程の小さな花が集まり猫のしっぽのようになっています。町内の山附川や跡取川周辺に多く見られ、花の時期にはよく目立ちます。



ヤブカンゾウ

ワスレグサ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Hemerocallis fulva

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
	○							○	○							

日当たりのよい山ろくの草地や田んぼの土手などに生えます。葉は2列に並んで根元から出て細長く、長さ50-90cm、幅2.5cmほどです。夏に茎の先に数個の花をつけます。花は径7cmほどあり、赤橙色をしていて八重咲きで上向きにつきます。地下茎を伸ばして増え群生します。若い芽は、山菜となります。古くに中国から伝来したものとされています。川岸や山地の岩場にみられるノカンゾウは花が一重咲きです。



ヤマシャクヤク

ボタン科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Paeonia japonica

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
										○		○	○	○		

山地の木かげに生え、高さは30-40cmあり、葉は3-4枚つき、それぞれの葉は小さな葉（小葉）に分かれています。小葉は、楕円形で先はとがっています。4-5月ごろ、茎の先端に上を向いた約5cmの白い花を1個つけます。果実は約3cmの長い楕円形です。園芸用に採取されて減少しましたが、近年、シカが食べないので、やや増えつつあります。本州（中部から西）、四国、九州、朝鮮半島に分布します。



植
物

ヤマホトトギス

ユリ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 準絶滅危惧

Tricyrtis macropoda

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○					○

林のまわりや草原に生え、茎は高さ約60cmで、斜め下向きの毛があります。葉は楕円形で先はとがっており、下部の葉は無毛で茎をいできませんが、中部から上の葉には茎をいだし、毛が生えています。7-9月にかけて花が咲き、花の茎は枝分かじれし、その先に花をつけます。花は白地に紫色の斑点があります。花卉はそり返り、おしべにも紫色の斑点があります。本州(中部から西)、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布します。



ユウスゲ (キスゲ)

ワスレナグサ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Hemerocallis citrina

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○						

山地の草原や林縁に生えます。葉は根元から2列に並んで出て、長さ約50cm、幅1cmぐらいで線形、斜めに伸びますが上部は下垂します。7-8月に高さ1mほどの花茎の先に花をつけ、花はレモンのようなさわやかな色で、ユリのようにラッパ状をしています。夕方から開き、翌日の午前中にしぼむ一夜花です。北海道から九州などに分布しており、町内では山地に自生していますが、近年シカの食害のためかやや減少しています。



リンドウ

リンドウ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：準絶滅危惧

Gentiana scabra

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○					○		

日当たりのよい山ろくや田んぼの土手に生え、茎は高さ30cmほどで直立または斜めに伸びます。葉は対につき、3つの脈が目立ち茎をいんでいます。秋に茎の先や上部の葉のわきに大きなつぼみをつけ、晴れた日に鮮やかな青紫色の花を上向きに開きます。花はつりがね型をしており、内部には茶褐色の斑点が見られます。根や根茎は薬になり、熊の胆（くまのい）よりもさらに苦いので竜胆（竜のきも）とよばれました。



ワレモコウ

バラ科

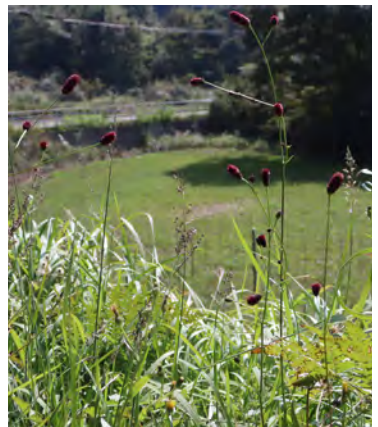
環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Sanguisorba officinalis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							

日当たりのよい山地の草原や田んぼの土手などに生えます。茎は直立し上部で分かれし、葉は多くの小葉に分かれ、縁にあらいきよ歯があります。7-10月に1-2cmの暗紅色の花（小さい花の集合体）をつけます。北海道から九州、朝鮮半島、中国、シベリア、ヨーロッパに分布し、町内では郊外の草地でよく見られます。目立たない色ですが「我もまた紅なり」と花が言っているようなので、この名がついたという説があります。



カワネズミ

トガリネズミ科

環境省 RL： 地域個体群

宮崎県 RL： 絶滅危惧 II 類

Chimarrogale platycephalus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○														

なまえに「ネズミ」と入っていますが大きく分けるとモグラの仲間です。山地の溪流に生息し、小魚、水生昆虫、サワガニなどを食べています。溪流釣りをする人に目撃されることがあり「銀ねずみ」と言われることもあります。体の大きさは11-14cmぐらいで、尻尾まで含めると20-25cmぐらいになります。溪流の岩の上にエビの香りのようなため糞をしています。高千穂町では、秋元、二上地区の溪流で生息が確認されています。



哺乳類

ヒナコウモリ

ヒナコウモリ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 IB 類

Vespertilio sinensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○				

※その他：本来は樹洞がねぐらと考えられるが、出産哺育コロニーは海食洞、岩の割れ目、社寺、工場、学校などの隙間で見つかっている。日本の昆虫を食べるコウモリの中では中型の種類です。黒茶色っぽい体の毛の中に白っぽい毛が混じっています。これまで宮崎県では生息が確認されていませんでしたが、高千穂町で初めて見つけられました。コウモリの特徴的な音声による確認では、延岡市や日之影町でも音声がかくにんが確認されています。隣の熊本県では、2020年に天草で繁殖哺育集団が見つかっています。宮崎県ではヒナコウモリのねぐらや繁殖場所はまだまだ見つかっていません。



ヤマネ

ヤマネ科

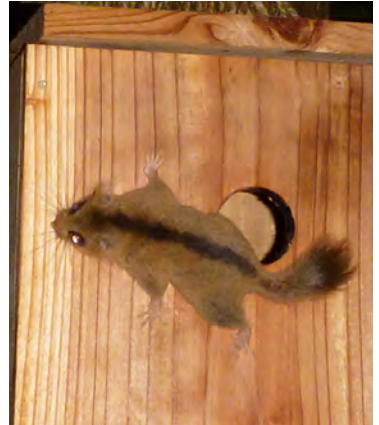
環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 II 類

Glirulus japonicus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○	○			

ネズミに似た小さな動物で背中に黒い1本の線があるのが特徴で、尻尾にも長い毛があります。体の大きさは頭から尻尾まで入れて10-15cmです。木の上を移動することが得意で、樹洞内や木の枝の間に樹皮やコケを集めて丸い巣を作ります。夜行性のためなかなか出会う機会がありませんが、伐採した木から出てきたり、小屋に入り込み冬眠していることもあります。町内では山地の森林に生息していますが、さらなる調査が必要です。



哺乳類

アカネズミ

ネズミ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Apodemus speciosus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

主に森林の地面で生活しているネズミです。そのほかにも河川敷、水田の畦、畑などでも見られます。背中の色は茶色から褐色がかかった色で、お腹は白いです。体の大きさは10cmから13cmぐらいで、体の長さと同じぐらいの尻尾を持っています。同じような環境にヒメネズミが生活していますが、ヒメネズミは樹上を中心に生活して住み分けています。地面の中に巣を作って繁殖し、秋にはドングリを地中に埋めて貯蔵します。



ムササビ

リス科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 準絶滅危惧

Petaurista leucogenys

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
										○	○	○	○	○		

前足と後ろ足の間にある飛膜で空中を滑空することができます。夜に活動し、木に登ったり木の間に飛んだりしながらエサを探します。体の大きさは30-45cm程度、尻尾の長さは30-40cm程度で比較的大きいです。巣は大木の樹洞を使います。松ぼっくりのエビフライ、ヤブツバキの蕾のかじり跡、葉っぱを丸く切り抜いた跡など特徴的な食べ跡を残すことがあります。町内では社寺林、上岩戸、親父山登山口などで確認されています。



哺乳類

ニホンノウサギ

ウサギ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Lepus brachyurus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
	○				○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

低い山から高い山まで、草地から森林まで、広い範囲で生活しています。穴を掘ったり、巣を作ったりすることはなく、ほとんどが単独で行動しています。体の大きさは50cm前後、尾の長さは2-5cm、耳の長さは6-8cmぐらいです。雪が多く降るところに住むノウサギは冬になると全身が白くなりますが、九州にいるノウサギは冬でも茶色いままです。前足と比べて後ろ足が大きいので、特徴的な足跡を残します。



アカギツネ

イヌ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Vulpes vulpes

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○		○	○	○	○	○	○	○	○

体の大きさは60-75cm、尾の長さは約40cmで中型の日本犬ぐらいの大きさです。とがった口先や、三角形の耳、太くふさふさした長い尻尾が特徴です。都市郊外から山岳地までさまざまな環境で生活していますが、森と畑が一緒にある里山環境を好みます。森林内や土手などに入口が複数ある巣穴を掘って、春に出産、夏まで子育てをします。以前よりは目にする機会が増えてきている動物のひとつです。



哺乳類

タヌキ

イヌ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Nyctereutes procyonoides

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

体の大きさは50-60cm、尾の長さは約15cmで小型のイヌより少し大きいです。同じぐらいの大きさの動物にアナグマとアライグマがありますが、顔と尻尾の特徴から見分けることができます。里山から奥山まで広く生活していますが、住宅地や街中で見かけることも多いです。尾根道にタヌキのため糞場を見かけ、糞の中にあつた樹木の種が芽を出しています。疥せん性にかかり体の毛が抜けたタヌキが人里に現れることもあります。



ニホンイタチ

イタチ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 準絶滅危惧

Mustela itatsi

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	

オス 27-37cm、メス 16-25cm でオスの方が大きいです。外来種のシベリアイタチ（チョウセンイタチ）と似ていますが、体と尻尾の割合を比べたとき、ニホンイタチの方が尻尾の割合が小さいため、尻尾が短く見えます。平地から山地の川や田んぼなどの水辺周辺で生活し、カエル、ネズミ、小さな鳥、カニや魚などを食べます。似ているニホンテンやチョウセンイタチと比べて、少しくすんだ茶色の体毛をしています。



哺乳類

ニホンテン

イタチ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Lepus brachyurus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○								○	○	○	○	○	○	○

体の大きさは約 45cm で、ニホンイタチやチョウセンイタチよりひとまわり大きな動物です。毛の色が季節で変わり、夏毛では顔からのどにかけて黒くなりますが、冬毛では白くなります。木登りが上手で樹上を利用するため主に森林で生活していますが、樹木があれば人家や公園周辺にも出てきます。小動物や昆虫、果実までいろいろなものを食べ、糞には植物の種が多く入っています。設置している鳥の巣箱を襲うこともあります。



ニホンアナグマ

イタチ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Meles anakuma

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	

体の大きさは約 52cm、尻尾の長さは約 14cm で小型のイヌを少し大きくしたぐらいです。タヌキと同じぐらいの大きさですが、アナグマの方がずんぐりした体型をしています。顔の鼻筋が白くなっているのが、外来種のハクビシンと間違えられることが多いです。森の中に長いトンネルを掘って、メスを中心とする家族で生活します。昼間に活動していることもあり、エサ探しに夢中になってしまい人間と近くで出くわすことも多いです。



哺乳類

ニホンカモシカ

ウシ科

環境省 RL : 地域個体群

宮崎県 RL : 絶滅危惧 II 類

Capricornis crispus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○	○			

シカに似た大型の哺乳類で、主に山地で生活しています。名前にシカがありますが、ウシの仲間です。なわばりを持ち、その中で単独もしくは親子で暮らしています。シカと異なり「ため糞」をすることが大きな特徴です。山地の岩場を好んでいましたが、シカの増加に伴いカモシカのエサも減少し、里地に降りてくるが増えました。直近の調査では、高千穂町周辺のカモシカは 19-24 頭と推定されており、危機的状況にあります。



キジ

キジ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Phasianus colchicus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
	○					○		○	○						○	

留鳥（全長オス 80 cm・メス 60 cm）
 オスは尾が長く、頭頂、胸、腹は光沢のある暗緑色で、顔は赤く皮膚が露出しています。メスは茶褐色に黒褐色の斑紋があり、尾はオスより短いです。繁殖期に「ケーン、ケーン」と鳴いて羽ばたきをします。昆虫類やクモ類、植物の種子などを食べます。国鳥（国の鳥）に指定されていますが、狩猟鳥にもなっています。町内の農耕地や草地などに生息しています。



鳥類

オシドリ

カモ科

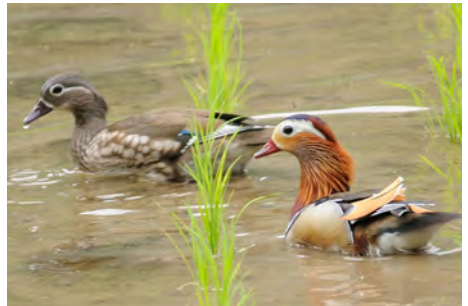
環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Aix galericulata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○				○				○				

冬鳥（全長 46 cm）
 オスの体色は全体が黄褐色で顔は白く、銀杏羽と呼ばれる風切羽があります。メスは全体が灰褐色で目の周囲が白いです。他のカモ類とは違って木に止まることが多く、樹洞に巣を作ります。樹木の果実や草の種子、昆虫類などを食べます。冬季に町内の岩戸川の鹿狩戸橋周辺や五ヶ瀬川の青葉大橋周辺などに生息しています。県内では繁殖した記録もあります。



キジバト

ハト科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Streptopelia orientalis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
		○				○		○		○		○		○		

留鳥（全長 33 cm）

オスとメスは同じ色で、全体的にブドウ色を帯びた灰褐色、首に黒と青灰色のうろこのような模様があります。「デデポッポー」と鳴き、ヤマバトの俗名で親しまれています。主に草の種子や木の実などを食べますが、昆虫類なども捕食します。ほぼ1年中繁殖し、庭にある木にも巣を作ります。町内の平地から山地の広い範囲に生息しています。



鳥類

アオバト

ハト科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Treron sieboldii

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
										○	○	○	○			

留鳥（全長 33 cm）

オスは頭部から体の上部にかけて黄緑色から緑色で羽に赤紫色の模様があり、くちばしはコバルト色です。メスは全体が淡色で赤紫色の模様はありません。「オーアオー」「アオー」などと鳴きます。主に木の実や新芽を樹上で食べます。夏季に海岸の岩場で海水を飲む習性があります。冬季には数羽の群れで生活しています。町内の主に樹木の多い山地に生息しています。



アオサギ

サギ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Ardea cinerea

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
○	○		○	○	○	○	○					○				

留鳥（全長 93 cm）

オスとメスは同じ色で、上面は青灰色、頭が白く黒色の冠羽があります。繁殖期にはくちばしの基部、眼先、足が赤い婚姻色になります。体の色や大きさからツルと間違えられることがあります。「キャツ」「ゴァー」などと鳴きます。夜行性ですが、日中でも行動して、魚やカエル、昆虫などを捕食します。町内の河川や水田などに生息しています。過去に高千穂峡で繁殖した記録があります。



ホトトギス

カッコウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Cuculus poliocephalus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
										○		○				

夏鳥（全長 28 cm）

オスとメスは同じ色で、上面は青灰色、腹部は白くて黒色横斑があります。カッコウやツツドリに比べ小柄です。「キョツ、キョキョキョキョ」と昼夜を問わず鳴き、「テツペンカケタカ」や「特許許可局」などと聞きなします。主にガ類の幼虫を食べます。1羽で行動することが多く、主にウグイスに托卵（他の鳥の巣に卵を産んで他の鳥にヒナを育てさせる）します。夏季に町内の平地から山地の林に生息しています。



トビ

タカ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Milvus migrans

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
	○	○				○	○	○		○		○		○		

留鳥（全長オス 59 cm・メス 69 cm）
 オスとメスは同じ色で、体は黒褐色で、羽のふちは淡色です。尾の先が凹状（真ん中が少しへこむ）になっているのが特徴です。「ピロロロー」と鳴き、輪を描きながら飛翔します。昆虫類やカエルなどを捕食しますが、死んだ魚や動物をついばみ、自然界で掃除屋の役目もしています。高千穂町では以前は観察記録が少なかったのですが、近年増えつつあります。町内の平地から山地の広い範囲に生息しています。



たかちほうちょう いぜん かんさつ
 高千穂町では以前は観察記録が少なかったのですが、近年増えつつあります。町内の平地から山地の広い範囲に生息しています。

鳥類

クマタカ

タカ科

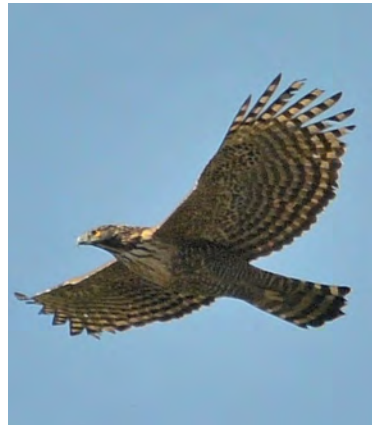
環境省 RL： 絶滅危惧 IB 類

宮崎県 RL： 絶滅危惧 II 類

Nisaetus nipalensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
										○	○	○				

留鳥（全長オス 75 cm・メス 83 cm）
 オスとメスは同じ色で、オスの方が体は小さいです。頭の後ろの羽毛が少し長く冠羽状で、頭部から体の下面は白くて背と翼は灰黒褐色です。「ピー」「ピョッピョッ」などと鳴き、ノウサギなどの哺乳類やヘビ類、鳥類を捕食します。あまり羽ばたかないで輪を描いて飛ぶことが多いです。町内の山間部に生息していますが、森林伐採などの開発により生息数が少なくなっています。



コゲラ

キツツキ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Dendrocopos kizuki

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○								○	○	○		○	

留鳥（全長 15 cm）

オスとメスはほぼ同じ色で、オスにだけ頭の後ろの両側に小さくて赤い斑があります。頭から体の上面は黒褐色で、背と翼には白色の横斑があり、体の下面はくすんだ白色です。「ギーツ、ギーツ」「キツキツキツ」などと鳴き、木の幹にいる昆虫類などを捕食するほか、木の実も食べます。繁殖期以外にはエナガやメジロなどの群れに混じって生活することもあります。町内の平地から山地の林に生息しています。



アオゲラ

キツツキ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Picus awokera

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○								○	○	○		○	

留鳥（全長 29 cm）

オスとメスはほぼ同じ色で、全身が灰黄緑色、腹部には黒色横斑があります。オスは頭の前から頭の後ろまでと頬線の一部が赤く、メスでは頭の後ろと頬線の一部が赤いです。「キョツ、キョツ」「ピョー、ピョー」などと鳴き、木の幹にいる昆虫類などを捕食するほか、アリや木の实も食べます。枯木などをくちばしでつついてドラミングをします。日本固有種で、町内の平地から山地の林に生息しています。



リュウキュウサンショウクイ サンショウクイ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Pericrocotus tegimae

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
		○								○	○	○		○		

留鳥 (全長 20 cm)

オスとメスはほぼ同じ色で、頭、翼、尾が黒く、胸が灰黒色でのどと腹は白いです。よく似たサンショウクイは、胸が黒くなくて背中が灰色で春や秋の渡り時期に観察されます。「ヒリリ、ヒリリ」と鳴き、昆虫類やクモ類などを捕食します。繁殖期以外にはエナガやメジロなどの群れに混じって生活することもあります。町内の平地から山地の広い範囲に生息しています。



鳥類

モズ

モズ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Lanius bucephalus

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
		○						○						○	○	○

留鳥 (全長 20 cm)

オスは頭が橙褐色で、目の横に黒い線があります。背は青灰色で、翼に白い斑があります。メスは上面が褐色で、翼に白い斑がなく、下面に褐色の横斑があります。「キイーキイー」「キュン、キュン」と鳴きますが、他の鳥の鳴きまねもします。主に昆虫類を捕食しますが、スズメを捕食することもあります。捕らえた獲物を枝に刺す「はやにえ」をします。町内の平地から山地の開けた場所に生息しています。



カケス

カラス科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Garrulus glandarius

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○	○		○	

留鳥（全長 33 cm）

オスとメスは同じ色で、体はぶどう褐色、頭には白地に黒の縦斑があり、目の周りが黒く、翼に青と黒の斑があります。「ジェーッ」と鳴きますが、他の鳥や物音をまねて鳴くこともあります。昆虫類やクモ類、種子や木の実などを食べますが、他の鳥の巣を襲い、卵やヒナを食べることもあります。ドングリなどを隠す貯食の習性があります。町内の平地から山地の林に生息しています。



ハシボトガラス

カラス科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Corvus macrorhynchos

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○		○	○	○		○	○

留鳥（全長 56 cm）

オスとメスは同じ色で、全身が光沢のある黒色です。額が出っ張っていて、くちばしが太くて上側のくちばしが湾曲しています。「カーカー」と澄んだ声で鳴きますが、にごった声も出します。雑食性でも食べ、ゴミ箱もあさったりします。繁殖期以外は群れで生活しています。よく似たハシボソガラスもありますが、「ガーアガーア」とにごった声で鳴き、くちばしが細くて額が出っ張っていないのが特徴です。



ヤマガラ

シジウカラ科

環境省 RL : -

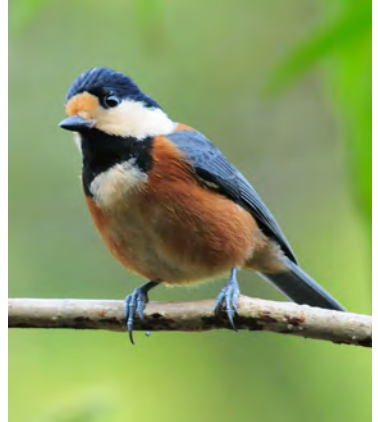
宮崎県 RL : -

Poecile varius

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○								○	○	○		○	

留鳥 (全長 14 cm)

オスとメスは同じ色で、頭部が黒、背と腹は茶褐色、肩羽と翼は暗青灰色です。「ツーツーピー、ツーツーピー」「ニーニーニー」などと鳴きます。昆虫類や木の実を食べますが、秋や冬には木の実を貯蔵する習性があります。営巣に巣箱を利用することもあります。繁殖期以外にはエナガやメジロなどの群れに混じって生活することもあります。町内の平地から山地の広い範囲に生息しています。



鳥類

シジウカラ

シジウカラ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Parus minor

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○								○	○	○		○	

留鳥 (全長 15 cm)

オスとメスは同じ色で、上面が青灰色、頬が白、頭が黒、胸から腹にかけて黒い縦線があり、オスは縦線が太く、メスは細いです。「ツピイツピイ」「ジユクジユク」などと鳴きます。昆虫類や木の実や種子などを食べます。営巣に巣箱を利用することもあります。繁殖期以外にはエナガやメジロなどの群れに混じって生活することもあります。町内の平地から山地の広い範囲に生息しています。



ツバメ

ツバメ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Hirundo rustica

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
	○	○				○	○	○								

留鳥、旅鳥（全長 17 cm）

オスとメスは同じ色で、上面が黒色で下面は白く、額とのどは赤褐色です。「チュピッ」「ツピッ」などと鳴きます。飛行しながら昆虫類を捕食しますが、水も飛行しながら飲みます。民家周辺の建物に好んで営巣します。繁殖期はつがいで行動しますが、繁殖期以外は群れで行動します。町内の平野部や農地などの開けた場所に生息しています。県内では1年中見られますが、旅鳥のツバメもいます。



町内の平野部や農地などの開けた場所に生息しています。

ヒヨドリ

ヒヨドリ科

環境省 RL： -

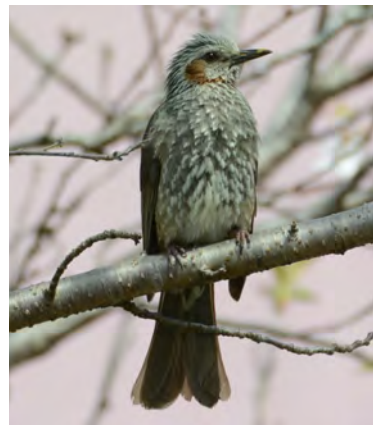
宮崎県 RL： -

Hypsipetes amaurotis

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○				○		○		○	○	○		○	

留鳥（全長 27 cm）

オスとメスは同じ色で、体全体が灰褐色、耳の羽は茶色で、腹部に灰色の白斑があり、翼と尾羽は褐色です。「ピーヨ」「ピーピー」などと鳴きます。雑食性で昆虫類、クモ類や木の実、花、野菜なども食べます。繁殖期以外は群れで生活し、春や秋には大群となって移動するのを見かけます。飛翔時に波状飛行をするのが特徴です。観察記録が最も多く、町内全域に生息しています。



ウグイス

ウグイス科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Cettia diphone

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
		○						○	○	○		○		○	○	

留鳥 (全長 14 ~ 15.5 cm)

オスとメスは同じ色で、全身茶褐色、下面は淡い色です。冬は「チャツ、チャツ」と鳴きますが、春が近づくと「ホーホケキョ」とさえずります。昆虫類やクモ類などを捕食しますが、秋や冬には草木の実も食べます。繁殖期以外は1羽で生活しますが、繁殖期にオスは縄張り内に6~7羽のメスと一緒に生活します。町内の平地から山地の林や、林縁のよく茂ったやぶなどに生息しています。



鳥類

エナガ

エナガ科

環境省 RL : -

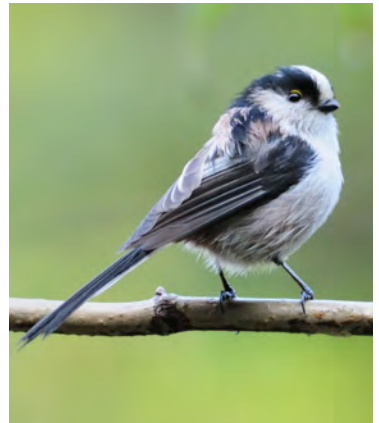
宮崎県 RL : -

Aegithalos caudatus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
		○								○	○	○		○	○	

留鳥 (全長 14 cm)

オスとメスは同じ色で、上面が黒と赤っぽい紫色、頭部と下面は白色で、くちばしが短く、尾は長くて黒いです。「ツイーツイー」「ジュリリリ」などと鳴きます。昆虫類やクモ類を捕食しますが、樹液や草の実も食べます。繁殖期以外には10羽以上の群れになり、メジロやコゲラなどと混群を作って生活しています。町内の平地から山地の広い範囲に生息しています。



メジロ

メジロ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Zosterops japonicus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
	○	○								○	○	○		○	○	

留鳥（全長 12 cm）

オスとメスは同じ色で、上面が暗黄緑色、下面は白色で目のまわりが白いです。

「チー」などと鳴きますが、オスは「チーチュルチュルチュルチー」などとさえずります。昆虫類や木の実、花の蜜などを食べます。繁殖期以外にはエナガやシジユウカラなどの群れに混じって生活することもあります。町内の平地から山地の広い範囲に生息しています。冬には庭先にもやっけてきます。



鳥類

シロハラ

ヒタキ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Turdus pallidus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○						○	○	○		○	○	○	

冬鳥（全長 24 cm）

オスとメスはほぼ同じ色で、オスの頭部は灰褐色で上面が茶褐色、尾羽の外側の先が白いです。メスは頭部の灰色味が淡い色です。腹部はくすんだ白色です。

「キョツキョツ」「ツイー」などと鳴き、主に地上で昆虫類やミミズ類などを捕食しますが、木の実も食べます。冬季に町内の平地から山地の樹木の多い場所のやぶを好んで生息しています。年が明けると開けた場所にも出てきます。



ツグミ

ヒタキ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Turdus naumanni

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○		○		○		○	

ふゆどり ぜんちょう
冬鳥 (全長 24 cm)

オスとメスはほぼ同じ色ですが、個体変異が多いです。上面が暗褐色で、胸から腹は白くて胸から脇にかけて黒斑があります。「クイックイッ」「クワックワッ」などと鳴きます。チョコチョコ歩いては胸を張って立ち止まる動作を繰り返し、昆虫類やミズミズ類などを捕食しますが、木の実は食べません。冬季に町内の平地から山間部の開けた林や農耕地、公園などに生息しています。



鳥類

ルリビタキ

ヒタキ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 情報不足

Tarsiger cyanurus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○		○		○	

ふゆどり いちぶ ほんしよく ぜんちょう
冬鳥、一部繁殖 (全長 14 cm)

オスの上面は明るい青色で下面は白く、脇がだいたい色です。メスは上面がオリーブ褐色です。「ヒッチョロチョロチョロリ」などとさえざり、冬になると「ヒッヒッ」と鳴きます。昆虫類やクモ類などを捕食しますが、木の実は食べません。大半は冬鳥として渡ってきますが、2002年に障子岳で繁殖が確認され、繁殖地の南限となっています。町内の樹木の多い場所に生息しています。



ジョウビタキ

ヒタキ科

環境省 RL : -

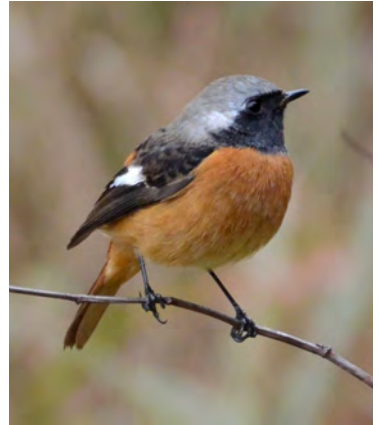
宮崎県 RL : -

Phoenicurus aureus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○		○		○		○	

ふゆどり ぜんちょう
冬鳥 (全長 14 cm)

オスは頭部が灰褐色で、のどが黒く、翼に白い斑があり、下面はだいたい色です。メスは全体的に灰褐色です。頭を下げて尾を振り「ヒッ、ヒッ」などと鳴きます。クモ類や昆虫類などを捕食しますが、木の実や草木の種子も食べます。オスメス共になわばりを持っていて単独で行動します。冬季に町内の平地を中心に樹木の多い場所や農耕地などに生息していますが、庭先にもやってきます。



オオルリ

ヒタキ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Cyanoptila cyanomelana

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○		○			

なつどり ぜんちょう
夏鳥 (全長 16 cm)

オスの体の上面は青紫色で、下面は白く、のど、顔、胸は黒いです。メスは全身が茶褐色です。「ピーラーラー、ポイヒーピピ」などと美しい声でさえずるので日本三鳴鳥の1種(その他はウグイスとコマドリ)となっています。昆虫類やクモ類などを捕食しますが、空中でも飛翔昆虫を捕食します。夏季に町内の溪流沿いの林のある場所に生息しています。オオルリなどの野鳥は、捕獲や飼育が禁止されています。



鳥類

スズメ

スズメ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Passer montanus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
		○				○	○	○							○	

留鳥（全長 15 cm）
 オスとメスは同じ色で、体が褐色、顔は白くて耳とあごは黒く、翼に2本の白帯があります。「チュン、チュン」と鳴き、主に穀類や雑草の実を食べますが、繁殖期には昆虫類なども捕食します。若鳥は秋口には集団でねぐらを取り、長距離移動をするものもありますが、成鳥は縄張り内に残るものが多いです。町内の集落などの人が生活している周辺に多く生息しています。



鳥類

キセキレイ

セキレイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Motacilla cinerea

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
	○		○	○	○	○	○									

留鳥（全長 20 cm）
 オスとメスはほぼ同じ色で、体の上面が青灰色、腹部が黄色です。「チン、チン」「チョチョチョ」などと鳴きます。また、鳴きながら波状飛行をするのが特徴です。常に尾羽を上下に振りながら歩き回り昆虫類を捕食します。繁殖期以外は単独で生活しています。町内の平地から高山の沢、河川、農耕地の用水路などに生息していますが、道路の湿った場所でも見られます。



カワラヒワ

アトリ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Chloris sinica

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○		○			○	○	○

留鳥（全長 15 cm）

オスとメスはほぼ同じ色で、全身がオリーブ褐色、翼に黄色の斑があります。飛翔しているときにその黄色の斑がよく目立ちます。「キリキリコロコロビーン」などと鳴き、主に草の種子を食べます。繁殖期以外は群れで行動します。県内では冬鳥として渡ってくる亜種オオカワラヒワも記録されています。町内の雑木林や農耕地などの開けた場所に生息しています。



イカル

アトリ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Eophona personata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○				○		○		○		○			

留鳥（全長 23 cm）

オスとメスは同じ色で、体が灰褐色、頭、翼、尾羽が黒くて翼に白い斑があります。くちばしが太くて黄色なのが特徴です。「キーコーキー」などと口笛のような声で鳴きます。主に植物の実を食べますが、昆虫類やクモ類なども捕食します。繁殖期はつがいで行動しますが、冬季には群れで行動し、公園や農耕地などでも見られます。町内の明るい山地の林を中心に生息しています。



ホオジロ

ホオジロ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Emberiza cioides

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○		○	○	○			○	○	○

留鳥（全長 17 cm）
 オスは茶褐色で黒い縦斑があり、顔に白と黒の斑があります。メスはオスより淡色です。「チチ」などと鳴き、「チョッピーチリーチョ、チーチク」とさえずります。このさえずりを「一筆啓上仕り候」などと聞きなします。昆虫類などを捕食しますが、草の種子も食べます。町内の平地から山地の開けた場所に生息しています。2004年に「高千穂町の鳥」に選定されています。



鳥類

ホオアカ

ホオジロ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 保護上重要種

Emberiza fucata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○							○	○	○			○		

留鳥（全長 16 cm）
 オスとメスはほぼ同じ色で、頭が灰色、頬が赤褐色、下面は白く胸に黒と褐色の横斑があります。メスはオスより淡色です。「チョッチチリンジ」などとさえずり、昆虫類などを捕食しますが、草の種子も食べます。高千穂町五ヶ所高原やえびの市矢岳高原などで繁殖しています。冬には低地に降りて河川敷や休耕田などに生息しています。



コジュケイ

キジ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Bambusicola thoracicus

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈り跡
								○	○	○		○	○	○	○	

外来種：留鳥（全長 27 cm）
 オスとメスは同じ色で、上面は橙褐色で黒い横斑があり、下面は淡黄褐色、肩と胸の中央は青灰色で、頬、下胸が赤褐色です。中国原産の帰化鳥で、大正時代に狩猟鳥として輸入、放鳥され、全国的に広がりました。昆虫類や草の種子、葉などを食べます。鳴き声を「チョットコイ」と聞きなし、身近な鳥として親しまれています。町内の平地や低山のやぶの多い場所に生息しています。



鳥類

ソウシチョウ

メチドリ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Leiothrix lutea

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○	○	○	○	○	○

外来種：留鳥（全長 15 cm）
 オスとメスは同じ色で、上面はオリーブ色、のどは黄色、胸はオレンジ、くちばしと翼の一部に紅色があります。中国南部などに生息しますが、飼鳥として飼育されたものが野生化し、生息域が拡大しました。県北では1987年頃から観察記録があります。町内の山間部で多く見られますが、冬季には平地でも見られます。生息場所がウグイスなどと競合しており、在来種への影響が懸念されています。



オオイタサンショウウオ

サンショウウオ科

環境省 RL : 絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Hynobius dunni

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○		○	○	○		○			○	

ぜんちょう 全長 10-16 cm。たいしよく あんりよくしよく 体色は暗緑色からおうかつしよく くろいろ 黒色の小斑がさんざい 散在します。12月-4月にすいろ ちしやう 水路や池沼、みず 水たまりではんしよく 繁殖し、80-120卵のいりだつ 入った長さ20-30cmのこいれじょう coil状の卵のうを1ついで 対産みます。ようせい 幼生は夏に変態しじょうりく しゆうい 上陸、周囲のりんしょう 林床でどじょう どうぶつ 土壌動物などをエサとしてせいちやう 成長し、やく 4年でせいじく 性成熟します。たかち ほちやう 高千穂町ではごかしよ 五カ所地区のくまもとけん 熊本県境にせいかく 近く、おおいだ 大分市からくまもとけん 熊本県北東部にせいせき 生息するしゅうだん 集団に属します。みやざき 宮崎市周辺はせいせき 生息する集団とはいでんてき 遺伝的にくべつ 区別ができます。



コガタブチサンショウウオ

サンショウウオ科

環境省 RL : 絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL : 絶滅危惧 II 類

Hynobius stejnegeri

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○							○	○	○	○		○		

ぜんちょう 全長 8-14 cm。たいしよく あんかつしよく 体色は暗褐色でぎんぱくしよく 銀白色のこさな 小さな斑紋がごたい あり、個体差がごたい あります。3-5月にちか 地下のふくりゆうすい 伏流水中に10-26のらん 卵のうをさんらん 産卵し、ふ化したようせい 幼生はそこでせいせき 成長、エサをた 食べなくてもなつごころ 夏頃にはへんたい 変態します。へんたい 変態後はいし 石がたか 積み重なったばしょ 場所にすみ、よこえび やだんごもシなどのどじょう どうぶつ 土壌動物をエサとします。けんない 県内のさんち 山地にひろ 広くぶんぷ 分布しています。かくらん 確認記録がくまもとけん 少なくせいせき 生息状況のしやうさい 詳細はふめい 不明です。みやざき 町内ではみやざき 二上山やみやざき 諸塚山周辺できろく 記録があります。



両生類

ソボサンショウウオ

サンショウウオ科

環境省 RL：絶滅危惧 IB 類

宮崎県 RL：絶滅危惧 IB 類

Hynobius shinichisatoi

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○									○	○	○			

体長 14-18 cm。全身が濃い紫色で、4-5月に川の源流部で繁殖し、約40卵の入ったコイル状の卵のうを水中の石の下に1対産み付けます。幼生はカゲロウなどを食べ、半年から3年後に変態して上陸し、林床で土壌動物などをエサとします。宮崎と大分の県境の祖母山、傾山、大崩山などのごく狭い範囲に分布しています。以前はオオダイガハラサンショウウオとされていましたが、2014年にソボサンショウウオとして新種記載されました。



宮崎と大分の県境の祖母山、傾山、大崩山などのごく狭い範囲に分布しています。以前はオオダイガハラサンショウウオとされていましたが、2014年にソボサンショウウオとして新種記載されました。

ベッコウサンショウウオ

サンショウウオ科

環境省 RL：絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL：絶滅危惧 IB 類

Hynobius ikioi

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○									○	○	○			

全長 13-17 cm。体色は黒地に黄色のまだら模様が入り、ベッコウ模様になります。4-5月に川の源流部で繁殖を行い、16-50卵の入ったコイル状の卵のうを水中の石の下に1対産み付けます。幼生はその年の秋に変態して上陸しますが、水の中で越冬し翌春に変態する個体もあります。上陸後は林床で土壌動物などをエサとします。標高400m以上の照葉樹林、落葉広葉樹林に生息し、高千穂町では、五ヶ瀬町境や熊本県境周辺で記録があります。



水の中で越冬し翌春に変態する個体もあります。上陸後は林床で土壌動物などをエサとします。標高400m以上の照葉樹林、落葉広葉樹林に生息し、高千穂町では、五ヶ瀬町境や熊本県境周辺で記録があります。

アカハライモリ

イモリ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : -

Cynops pyrrhogaster

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
○	○		○	○	○		○		○	○	○	○		○	○	

ぜんちょう 7-14 cm。はいめん くろいろ
 全長 7-14 cm。背面は黒色で
 ふくぶ あかいろ
 腹部は赤色をしています。ま
 れに はいめん あかいろ こたい
 れに背面まで赤色の個体が確
 にん
 認されます。オスは 総排出口
 おお
 が大きくふくれるので、メスと
 くべつ
 区別ができます。平野部から
 さんち
 山地までの水田、池、溪流、
 みぞ
 溝などに広く生息します。5-6 月に、かんてん しつ
 寒天質に包まれた ちよっけい
 直径 2 mm 程の
 なまご
 卵を水草などに 1 粒ずつ つぶ
 産みつけ、ふ化した 幼生は ちゆうせい
 秋までに 変態し、
 やく
 約 3 年で 性成熟 します。たかち ほ ちゆうない
 高千穂町内では、町の中心部を除いて 広く
 かくにん
 確認 できます。



ニホンヒキガエル

ヒキガエル科

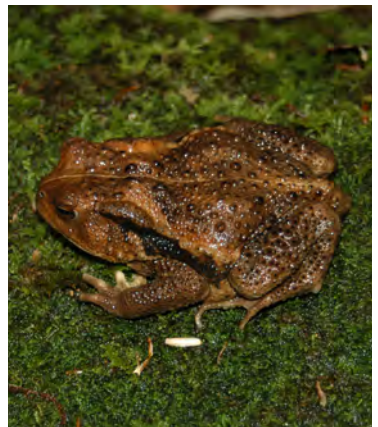
環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Bufo japonicus japonicus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	

ぜんちょう 8-18 cm。たいしよく ちやかつしよく ぜんしん
 全長 8-18 cm。体色は茶褐色で、全身に
 たすけい
 多数の隆起があり、ずんぐりとした 体型
 です。12-2 月に 水路 や 池沼、水田などに
 さんらん
 産卵 します。卵のうは ひも状 で、6 千-1 万
 せんらん
 4 千卵が入っています。ふ化した オタマジャ
 なつ
 クシは 夏までに 変態して 上陸し、周囲の
 りんしょう
 林床で 土壌動物などを エサとして 成長しま
 せいちよう
 す。オタマジャクシの 体色は 真つ 黒で、他
 くべつ
 のカエルのオタマジャクシと 区別 できます。
 たかち ほ ちゆうない
 高千穂町内では、町の中心部を除いて 広く
 かくにん
 確認 できます。



両
生
類

タゴガエル

アカガエル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Rana tagoi tagoi

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
○	○									○	○	○		○	○	

ぜんちょう 3-5 cm。たいしよく はいめん かっしよく したあごから胸にかけては黒褐色の小斑があります。2-5月に少量の水の流れがある岩の隙間や、伏流水中に産卵し、産卵期には岩の間から「グッ、グッ」という鳴き声を聞くことができます。一度に産む卵は、他のカエルに比べるととても少なく30-160卵で、ふ化したオタマジャクシは、エサを食わずに変態することができます。高千穂町内では、山間地の溪流沿いで確認ができます。



ヤマアカガエル

アカガエル科

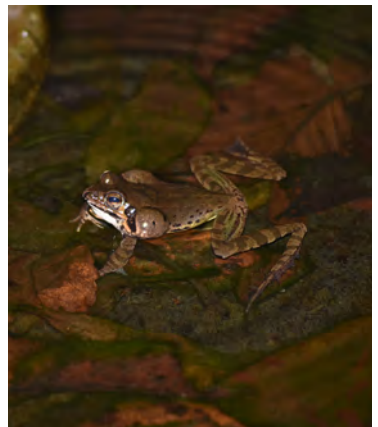
環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Rana ornativentris

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
○	○				○		○		○	○		○		○	○	

ぜんちょう 3-8 cm。メスのほうがや大きくなります。たいしよく はいめん せつかっしよく たいそくには黒褐色の不規則な斑紋があります。背面から見るとニホンアカガエルに似ていますが、目の後ろから体側にかけての隆起が「く」の字になることで区別ができます。樹林内に生息し、1-3月に周辺の水溜や湿地等で産卵し、繁殖期には、オスの「キャララ、キャララ」という鳴き声を昼間でも聞くことができます。高千穂町内では山間地で確認できます。



トノサマガエル

アカガエル科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Pelophylax nigromaculatus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○	○	○		○						

全長 4-9 cm。オスの体色は茶褐色から緑色で、繁殖期になると金色がかかった婚姻色となります。メスは灰白色から暗灰色で、体色が雌雄が区別できます。繁殖期は4-7月で、水田や池沼などに約3千卵を産卵します。ふ化したオタマジャクシは秋までには変態し、周囲の草地や樹林で成長します。近年は生息環境の改変などにより生息数が減っています。高千穂町では、山間地の水田周辺などで確認することができます。



カジカガエル

アオガエル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Buergeria buergeri

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○								○	○		○			

全長はオスが3-4 cm、メスが5-7 cm。体色は灰褐色で全身に不規則なまだら模様があり、表面はざらざらしています。河川の中流から上流に生息し、オスは「フィフィフィー」と澄んだ声で鳴きます。4-8月に川の中の石の下に50-80卵を産みつけ、ふ化したオタマジャクシは石についた藻類をエサとします。繁殖期以外は樹上で生活し、河川から離れた場所で確認することもあります。町内では春から夏に河川沿いで確認できます。



両生類

ニホンヤモリ

ヤモリ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Gekko japonicus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○													

全長 9-12 cm。体色は褐色で、背面には不規則な斑紋があり、尾の付け根の斑紋はW型になります。体色は周囲の明るさや色によって変化します。人家やその周辺に生息し、夜間に灯火に集まる虫などをエサとしています。天井裏や戸袋などに5-8月に2-3個の卵を産みます。名前に「ニホン」とついていますが、日本列島に侵入した外来種です。高千穂町においても、人家内や外壁で普通に確認できます。



ニホントカゲ

トカゲ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Plestiodon japonicus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全長 15-20 cm。体色は光沢のある黄褐色をしていますが、幼体は青味を帯び背に5本の縦縞があります。交尾期は4-5月で、あごやのどにはオレンジ色の婚姻色が現れます。5-6月に5-16個の卵を産み、親はふ化するまで卵を保護します。ふ化した幼体は約2年で性成熟します。平野から山地まで広く生息し、庭先などでよく見ることができます。高千穂町においても町の中心部から山地まで広く生息しています。



ニホンカナヘビ

カナヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Takydromus tachydromoides

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○				○		○	○	○	○	○	○	○	○

ぜんちよう 全長 15-20 cm。尾が大変長く全長の3分の2をしめ、スマートな体型をしています。体色は灰褐色でニホントカゲに比べ体の表面がかさついた感じがします。5-9月に1-6回産卵し、1回の産卵で8-11個の卵を産みます。ふ化した幼体は1年で性成熟します。ニホントカゲ同様、平野から山地まで広く生息し、乾燥した草原や茂みで確認することができます。高千穂町においても町の中心部から山地まで広く生息しています。



そうげん しげ かくにん 乾燥した草原や茂みで確認することができます。高千穂町においても町の中心部から山地まで広く生息しています。

タカチホヘビ

タカチホヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 情報不足

Achalina spinalis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○		○		○		

ぜんちよう 全長 30-60cm。体色は紫がかかった褐色で、鱗は立体的に丸く盛り上がりとても光沢があります。大型の個体は黄色みがかかり、背中央部に黒色のラインが尾まで続きます。なお、幼体は全身が黒色をしています。7-8月に3-13個の卵を産みます。平地から山地の森林に生息し、ミミズなどをエサとしています。地中性かつ夜行性のため確認例が少なく、高千穂町では大平で記録がありますが、生息状況の詳細は不明です。



へいち さんち しんりん せいそく 平地から山地の森林に生息し、ミミズなどをエサとしています。地中性かつ夜行性のため確認例が少なく、高千穂町では大平で記録がありますが、生息状況の詳細は不明です。

ジムグリ

ナミヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Euprepiophis conspicillatus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○	○	○	○	○	○	○	

ぜんちよう
全長 70-100cm。たいしよく
体色は黄褐色で黒色の
せつかつしよく
小さな斑点があります。幼蛇は赤褐色で
くろいろ
黒色の横縞があります。6-8月、石や落
ち葉の下などに3-7個の卵を産みます。
へいや
平野から山地の林床に生息し、ネズミな
どの穴に潜りエサとします。このことから
ジムグリの名前がつけました。外敵に襲
われると総排出口近くの臭腺から独特の
なまぐさ
生臭いにおいを出します。高千穂町では
まち
町の中心部以外で普通に確認することが
できます。



アオダイショウ

ナミヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Elaphe climacophora

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○	

ぜんちよう
全長 100-150cm。にほんほんど
日本本土に
せいそく
生息するヘビの中では最大と
なり、200cmを超えることもあ
ります。たいしよく
体色は青味がかかった
おリーブ色、幼蛇はクリーム
色に褐色の斑紋があります。
6-8月、石や落ち葉の下など
に7-13個の卵を産みます。へいや
平野から低山地に生息し、エサとなるネ
ズミや鳥を捕るので人家近くで見られたり、時には家屋の中で見られ
たりすることがあります。高千穂町においても人家近くで確認するこ
とができます。



シマヘビ

ナミヘビ科

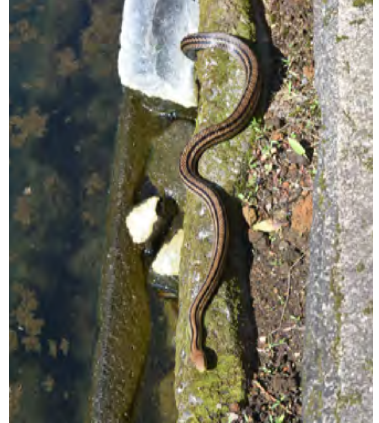
環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Elaphe quadrivirgata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

ぜんちょう 80-150cm。体色は茶褐色で背面に4本の黒色の縦縞があります。幼蛇は赤褐色の横縞があります。なお、黒色の個体をカラスヘビと呼びますが、その体色には個体差があり、全身黒色の個体や所々に白い部分のある個体もいます。7-8月、石や落ち葉の下などに4-16個の卵を産みます。平野から山地まで生息し、カエルやトカゲ、ネズミなど様々な生き物をエサとしています。町内においても広く確認できます。



ヒバカリ

ナミヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Hebius vibakari vibakari

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○				○		○	○	○	○	○	○	○		

ぜんちょう 40-65cm。体色は茶褐色、口の横から首の付近にかけて黄色の帯があります。幼蛇は全身黒色をしています。6-8月、コケや草の中などに2-10個の卵を産みます。平野から山地に広く分布し、夕方から夜間に水田や湿地近くで活動し、小魚やオタマジャクシ、ミミズなどをエサとします。無毒のヘビですが、昔は毒蛇と考えられており、ヒバカリの名は「噛まれたら命がその日ばかり」に由来します。町内では玄武山での記録があります。



爬虫類

ヤマカガシ

ナミヘビ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Rhabdophis tigrinus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

ぜんちょう 全長 60-120cm。しきさい 色彩や模様のおお 変異が大きい、褐色に黒色やあかいろ 赤色の斑紋が入る個体、赤味のな ない個体、黒色型の個体などが います。シマヘビの黒色型とは 鱗の盛り上がった筋で区別が つきます。6-8月、石や草の下 などに6-27個の卵を産みます。 水田などに広く分布し、町内でも 普通で確認できます。上あごの 奥の歯でかまれるとデュベルノイ 腺から分泌される毒性の強い物質 が注入されるので注意が必要です。



ニホンマムシ

クサリヘビ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Gloydius blomhoffii

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

ぜんちょう 全長 45-70cm。メスのほうが大きくなります。たいしよく 体色は黒褐色や赤褐色でマムシ特有のせにがた 銭形状の斑紋があります。卵胎生で8-10ひま 月に2-13匹の幼蛇を産みます。平野からさんち 山地に生息し、水辺や湿地などの湿ったばしょ 場所、夜間にカエルやネズミ、他のへか びを捕まえエサとします。町内でも水田近 くに山間地で確認できます。マムシは積 極的に人を襲いませんが、上あごの先端に 毒をだす牙があり、かまれると命に関 わることもあるので注意が必要です。



スジボソヤマキチョウ

シロチョウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅

Gonepteryx aspasia

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○					○

九州での本種は、大変珍しく1953年までに九重、祖母周辺山地帯から記録上合計9頭の個体が知られ、町内では1953年に記録されています。その後大分県竹田市（祖母）で1986年にオス1頭の記録があり、以降はいくつかの目撃記録はあるものの、絶滅したとの見方もあります（標準写真は長野県産）。成虫はオスは黄色、メスは黄白色をしておりよく目立ちます。成虫で越冬し翌春産卵し、幼虫はクロウメモドキ等を食べます。



オオムラサキ

タテハチョウ科

環境省 RL： 準絶滅危惧

宮崎県 RL： 準絶滅危惧

Sasakia charonda

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○		○		○		

大型のチョウで、雑木林の上空を滑空する姿は鳥と見間違うほどです。オスの翅の表側は紫色に輝き美しく、国蝶に指定されています。宮崎県では局所的に生息し数も少なく、県の準絶滅危惧種に選定されています。町内では、三田井、岩戸、五ヶ所等に記録があります。里山的環境を好み、成虫は、花よりハルニレやクヌギの樹液を好み、幼虫はエノキ等を食し、幼虫で越冬します。



昆虫類

ヒメシロチョウ

シロチョウ科

環境省 RL：絶滅危惧 IB 類

宮崎県 RL：絶滅危惧 IA 類

Laptidea amurensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							○

九州では、阿蘇、九重の高原地帯に生息し、宮崎県では高千穂町五ヶ所のみ記録があります。熊本県高森町では、局的ながらもある程度の個体数が見られますが、五ヶ所では、発生地が狭く、個体数も少ないです。幼虫は、ツルフジバカマを食べますが、この植物は当地でも少なく、また近年はシカの食害も受けています。現地では民間



団体による保護活動も行われています。

ゴマシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL：絶滅危惧 IB 類

宮崎県 RL：絶滅危惧 IA 類

Phengaris teleius

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							○

九州では阿蘇、九重、由布岳一帯に分布しますが、宮崎県では高千穂町五ヶ所のみ記録です。2009年頃まではよく観察できましたが、近年はほとんど姿を見ることができず、絶滅が危惧されています(県絶滅危惧種)。食草はワレモコウですが、それに加えクシケアリとの関係が深い特殊な生態が知られています。食草がシカの食害を受けていて、現地では民間団体による保護活動も行われています。



団体による保護活動も行われています。

オオウラギンヒョウモン

タテハチョウ科

環境省 RL : 絶滅危惧 IA 類

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IA 類

Fabriciana nerippe

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
	○							○								

大型のヒョウモンで、以前は西日本を中心に広く分布し、多産地も見られましたが、多くの産地では既に絶滅しました。宮崎県でも宮崎市平野部、旧須木村や霧島山麓等では普通に見られましたが、近年はえびの市と高千穂町以外は見られず、他の産地は絶滅したと考えられ、県絶滅危惧種に選定されています。本種は、他のヒョウモン類と同様にスマレ類を食べ、特に草原を好む種といわれています。



本種は、他のヒョウモン類と同様にスマレ類を食べ、特に草原を好む種といわれています。

クロシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL : 絶滅危惧 IB 類

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IA 類

Niphanda fusca

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
							○	○					○		○

九州では中央山地に多く見られましたが、近年は激減し、宮崎県内でも多くの産地で絶滅しています。高千穂町五ヶ所周辺ではよく見られていましたが、近年は少なくなり、現在確実に生息している数少ない貴重な産地です。本種は、アリやアブラムシ等と密接な関係を持つ特異な生活史を持っており、草原に低い樹木が生えている五ヶ所高原のような環境を好みます。上の標本写真は裏面です。



本種は、アリやアブラムシ等と密接な関係を持つ特異な生活史を持っており、草原に低い樹木が生えている五ヶ所高原のような環境を好みます。上の標本写真は裏面です。

昆虫類

ウラジロミドリシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 IB 類

Favonius saphirinus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
													○		

九州では高千穂町、九重、阿蘇などに局所的に分布します。ミドリシジミの仲間
で、翅の裏側は銀白色～灰白色で、オスの翅の表側は金属光沢のある青色で、メスは褐色で地味です。里山林に生息し、クヌギに混じって植えられているナラガシワ（現地でハザコと呼んでいます。）を食樹としています。岩戸や田原に生息地がありますが、近年減少傾向で、食樹の増殖などの保護策が必要です。



ミカドアゲハ

アゲハチョウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 保護上重要種

Graphium doson

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○						○			○				

東洋熱帯区に広く分布し日本が北限です。アオスジアゲハに近いアゲハチョウ科のチョウで、幼虫はオガタマノキやタイサンボクなどの若葉を食べます。宮崎県には広く分布しますが、海岸地帯が主な生息地で、高千穂町では少ないです。オガタマノキは神社によく植えられるため、町内の神社が主な発生地になっていて、神社で有名な高千穂町と深い縁のあるチョウです。



キバネセセリ

セセリチョウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 II 類

Burara aquilina

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○						

北海道や中部日本では個体数も多く普通ですが、九州では山地のみに生息し数も少なく、特に宮崎県北では少数の記録しか見られないごく稀なチョウです。町内では、上野竜ヶ岩で記録があります（標本写真はえびの市産）。翅の色は黄褐色で、飛び方も素早く動かし極めて迅速に飛翔するため、一般の方は「蛾」の仲間と思われる方が多いかと思ひます。幼虫はハリギリを食し、越冬後、成虫は7-8月に年1回発生します。



幼虫はハリギリを食し、越冬後、成虫は7-8月に年1回発生します。

ウラゴマダラシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 IA 類

Artopoetes pryeri

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○						○	○	○		○		○		

北海道、本州では平地でも見られ、個体数も少なくありませんが、九州では主に山地に生息しています。宮崎県では、高千穂町、五ヶ瀬町、椎葉村で局地的に生息が確認されていて、個体数も少なく珍しいチョウです。町内では五ヶ所から熊本県境にかけて生息し、高森町にも連続的に見られます。県内では翅の表側が暗い森林型と明るい原野型が知られていて、五ヶ所の個体は後者の型です。



翅の表側が暗い森林型と明るい原野型が知られていて、五ヶ所の個体は後者の型です。

昆虫類

オナガシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Araragi enthea

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○								○	○				○	

本州中部以北ではそれほど珍しい種ではありませんが、九州では熊本、大分、宮崎の各県の山地帯に局所的に見られる種です。本県では高千穂町、五ヶ瀬町、椎葉村のみで確認されてる大変珍しいチョウです。オニグルミ等を食樹としていて、クルミ林に生息していることや、裏面の特異な斑紋が特徴的です。町内では、向山秋元のクルミ林のみで見つかっています。上の標本写真は裏面です。



上の標本写真は裏面です。

クロミドリシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Favonius yuasai

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
													○		

九州では熊本県、宮崎県に局所的に生息する大変珍しいチョウです。この仲間の多くは、オスの翅の表側が金属光沢のある緑色や青色ですが、本種のオスは光沢のある暗褐色をしています。生息地は里山の古いクヌギ林で、産卵にもクヌギ大木の高所にある休眠芽が選ばれます。町内では、河内、田原、三田井、岩戸など広い地域から記録が見られますが、今回の調査では、上岩戸、岩戸で確認されました。上の標本写真は裏面です。



今回の調査では、上岩戸、岩戸で確認されました。上の標本写真は裏面です。

昆虫類

ホシミスジ

タテハチヨウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 II 類

Neptis pryeri

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○						○	○	○			○		

九州では、中央部の阿蘇山一帯に生息している、本県では、高千穂町、五ヶ瀬町、日之影町に記録があります。しかしながら、日之影町では近年記録がなく、現在は高千穂町五ヶ所が個体数は少ないながらも、安定した生息地と思われまます。食草は、シモツゲがよく利用されていますが、人家のユキヤナギから発生することもあり、町内の市街地でも記録されたことがあります。



ヒメキマダラヒカゲ

タテハチヨウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 II 類

Zophoessa callipteris

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○		○	○	○	○

九州では英彦山、九重山系の祖母山、阿蘇山等の九州山地の高標高地を中心に生息します。森林性のジャノメチヨウの仲間、ササ類が多い林道でよく見かけ、町内では祖母や五ヶ所に記録があります。幼虫はスズタケなどのササ類を食べ、成虫は7-8月においですが、日之影町の観察例ではメスは9月下旬まで見られます。近年減少傾向で、シカによる食草ササ類の食害が影響している可能性があります。



昆虫類

キマダラモドキ

タテハチョウ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 絶滅危惧 II 類

Kirinia fentoni

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○	○				○		

九州では、福岡県南部、阿蘇山、祖母山などに産地があります。本県では高千穂町、五ヶ瀬町のほか、延岡市北方町でも1例の記録がありますが、その後の記録はありません。草原周辺の疎林や林縁のような環境を好み、町内では岩戸、祖母、五ヶ所に記録があり、五ヶ所高原周辺が安定した生息地となっています。成虫は6月下旬から8月に現れ、幼虫で越冬しカヤツリグサ科、イネ科の植物を食べます。



幼虫で越冬しカヤツリグサ科、イネ科の植物を食べます。

ギンイチモンジセセリ

セセリチョウ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 絶滅危惧 II 類

Leptalina unicolor

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
	○							○	○							○

県内では、県南を除き県央を中心に広く生息していますが局所的です。また、川南町から西白杵郡までは大きな分布空白域があります。県央では平地でも生息していますが、町内で安定して見られるのは、標高の高い五ヶ所高原のみです。高標高地に生息したり、暖地の平地に生息したり、不思議な分布をするチョウです。後翅裏面に特徴的な銀白色の線があり、草原を弱々しく飛翔します。



スジグロチャバネセセリ

セセリチョウ科

環境省 RL：準絶滅危惧

宮崎県 RL：絶滅危惧 II 類

Thymelicus leoninus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○					○		

全国的には広く分布しますが、その産地は局所的で九州では、阿蘇、九重の火山帯および九州山地周辺に産し、本県では県北の高千穂町や五ヶ瀬町等に局所的に生息します。疎林や林縁付近の草原を好み敏速に飛翔し、よく花を訪れます。町内では五ヶ所周辺をはじめ河内、上野などで見られます。近縁のヘリグロチャバネセセリは本種とよく似ていて（特にメスは非常によく似ています）、町内では混生しています。



近縁のヘリグロチャバネセセリは本種とよく似ていて（特にメスは非常によく似ています）、町内では混生しています。

ヤマトスジグロシロチョウ

シロチョウ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Pieris nesis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
	○			○	○	○	○	○	○	○				○		○

九州では北部、中部に生息し、本県ではほぼ県北のみで見られ、町内では全域に広く生息します。近縁のスジグロシロチョウが幅広くアブラナ科植物を食草とするのに対し、本種はほぼスズシロソウのみに依存し、これが分布の制限要因と考えられます。町内では草刈り等で管理された農地周辺に食草の大群落が見られ、このような場所では多産します。地区の農業形態との関連が深いと思われます。



地区の農業形態との関連が深いと思われます。

昆虫類

ミヤマカラスシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 絶滅危惧 IB 類

Fixsenia mera

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
	○								○	○				○		

九州では福岡、大分、熊本、宮崎の高標高地に生息しています。宮崎県では、椎葉村や西臼杵3町に局所的に見られる珍しい種です。小型であること、色彩が地味なこと、個体数が少ないことなどの理由でなかなか目につかないチョウです。本種は卵で越冬し、早春ふ化しクロウメモドキの新芽を食べます。よく似た種に近縁のカラスシジミがありますが、この種は低標高地にも生息します。上の標本写真は裏面です。



よく似た種に近縁のカラスシジミがありますが、この種は低標高地にも生息します。上の標本写真は裏面です。

ジャノメチョウ

タテハチョウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 準絶滅危惧

Minois dryas

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
				○	○	○	○	○	○					○		○

九州には広く分布し、火山などの広い草原を好む草原性のチョウです。宮崎県では県南を除く地域に分布し、霧島周辺、西臼杵郡等では多産しますが、低地から低山地では減少していて、県の準絶滅危惧種に選定されています。町内では五ヶ所高原や農地周辺の草地に普通に見られます。草刈りが頻繁に行われる農業形態により、草原が多産と関係があるかと思われま



維持されていることが、本種の多産と関係があるかと思われま

昆虫類

クモガタヒョウモン

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 II 類

Nepargynnis anadyomene

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○							○	○	○			○		○

宮崎県では、県の北部、西部に主に生息します。市街地でも普通に見られるツマグロヒョウモンを除くヒョウモンチョウ類は、近年減少が著しく、本種も県絶滅危惧種に選定されています。町内では向山秋元周辺等で5月中旬頃から見られます。夏は一端姿を消し（夏眠するといわれています。）、秋に再び姿を見せませんが、五ヶ所高原では8月にも活動している姿が観察されています。



すがた かんさつ
観察されています。

シータテハ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Polygonia c-album

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○							○	○			○			

九州では中央部の比較的標高の高い所に生息しますが、時には低地でも発生します。近縁のよく似ているキタテハが各地に普通に見られるのに対し、本種は局地的で個体数も少ないです。主な食樹はハルニレなので、川沿いの環境によく見られます。ハルニレは町内で広く普通に分布していますが、本種の個体数は多くありません。年2回程度発生し、成虫で越冬します。



せいちゅう えつとう
成虫で越冬します。

昆虫類

ヒロヘリアオイラガ イラガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Parasa lepida lepida

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○			

緑と茶の美しいツートンカラーの本種は、もともとは中国、インド等に分布する南方系の蛾です。1979年以降、関西、中国地方、北九州で発見され、国内各地に分布を拡大した外来種です。成虫は光に集まるので、道の駅の街灯下や自動販売機でも目にする機会が多いです。幼虫はかなりの雑食で、サクラやカエデ、カキノキなど身近な木にもつきますが、有毒の棘を持っており、触れると電気が走ったような痛みを感じます。



有毒の棘を持っており、

ルリイロスカシクロバ マダラガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Illiberis consimilis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○			

春にのみ出現する珍しい昼行性の蛾です。黒い半透明の翅にある黒い翅脈が特徴的です。マダラガ科に属しますが、この科の種の多くが昼行性です。写真は道の駅高千穂の光に来た個体で、昼行性といえども夜間に光に来ることもあるのかもしれませんが、国内では本州と九州のみで見られ、シベリア南東部などにも分布します。幼虫はブドウ科のツタやノブドウを食べることが知られています。



食べることが知られて

キオビトビノメイガ

ツトガ科

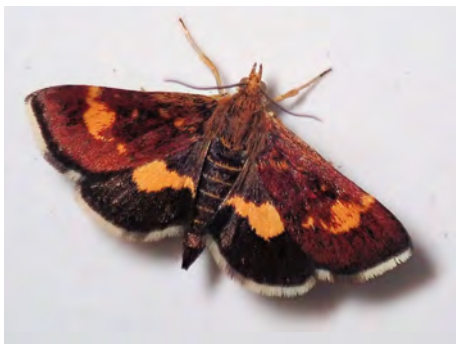
環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Pyrausta mutuurai

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							

本州、四国、九州に分布する、昼行性の美しい小型の蛾です。名前にある「キオビ（黄帯）」はオレンジ色に近く、前翅の白い縁の毛とともに目立っています。昼間、花に集まって吸蜜します。草原性の種のように、宮崎県内では高千穂町のみで見ることができます。写真は五ヶ所高原で撮影した個体です。近隣の阿蘇外輪山周辺の草地でも目にすることができます。



オオアヤトガリバ

カギバガ科

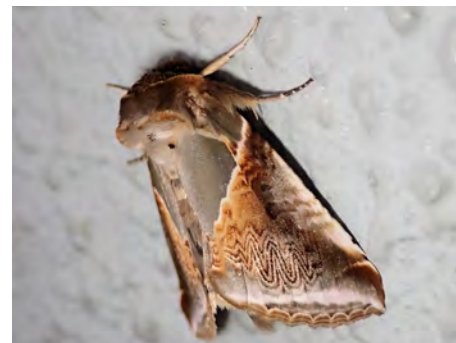
環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Habrosyne fraterna japonica

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							○

妖しく美しい色彩を持っている蛾です。止まる場所によっては何かに擬態できているのかもしれませんが。本州以南に分布し、台湾、中国、インドなどには別亜種があります。幼虫はクサイチゴを食べることが知られています。高千穂町での記録は少ないものの、10月に道の駅の灯火に飛来した個体を撮影しており、探せばもっと見つかるでしょう。前翅にある斜めの白線がより太いアヤトガリバというよく似た近似種があります。



昆虫類

ネグロトガリバ

カギバガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Mimopsestis basalis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○					

「ネグロ」は翅の付け根部分が黒いという意味ですが、実際には木目のような、独特の美しい模様をしています。北海道、本州、四国、九州、朝鮮に分布し、関東以西では山地の落葉樹林帯に生息しています。幼虫はオニグルミを食べることが知られています。宮崎県では延岡市、日之影町、美郷町、椎葉村、都農町、小林市で記録されていますが少ない種です。高千穂町では親父山で8月に灯火に飛来した個体が記録されています。



クロテンフユシャク

シャクガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Inurois membranaria

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○			○		

成虫が厳冬期に出現する「フユシャク」の仲間は、天敵の少ない冬季に羽化します。宮崎県において最も普通に見られるフユシャクは本種で、延岡市、日之影町、椎葉村、小林市、えびの市、都城市で記録されています。この写真は天岩戸で撮影したもので、高千穂町初記録とされています。幼虫は、コナラ、クヌギ、ツツジ類、カエデ類など多くの木につき、里山環境に生息しています。



オオノコメエダシャク ヒメノコメエダシャク

シャクガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Acrodontis fumosa, *Acrodontis kotshubeji*

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○				○	

両種とも成虫が晩秋の10-11月にのみ出現する蛾で、見た目もよく似ています。ヒメノコメエダシャク(写真)のほうが淡色で、前翅の外横線が翅脈上で黒点になる点などで区別できます。両種とも、腹部を曲げた特徴的な形で止まっていることが多いようです。どちらも宮崎県内では記録が少ないものの、晩秋に灯火や自動販売機の光などを探せば新産地が見つかる可能性が高いです。両種とも幼虫は多くの科の植物につきまします。



ヒメクチバスズメ

スズメガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Marumba jankowskii

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○					

北海道、本州、四国、九州、中国、シベリアに分布します。幼虫はシナノキを食べます。北海道では普通種ですが、宮崎県内では珍しい蛾で、高千穂町以外では椎葉村、西米良村といった山地帯に記録があります。写真は、親父山で灯火に飛来した個体です。よく似たクチバスズメは胸背中央の濃線が細く、翅の色彩のコントラストが弱いなどの違いがある普通種で、低地から山地まで広く分布しています。



昆虫類

タカサゴツマキシヤチホコ

シヤチホコガ科

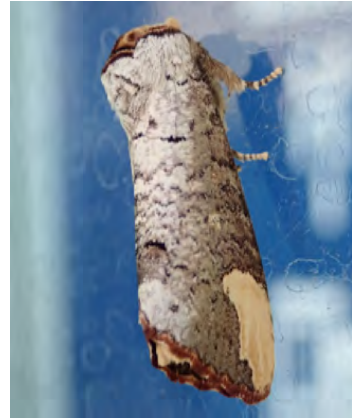
環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Phalera takasagoensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○					○		

前翅の先端部に黄色からクリーム色の斑紋があるため「ツマキ（先黄）」の名がついています。関東地方以西の本州、四国、九州に分布します。暖温帯落葉広葉樹林に生息し、幼虫はクヌギを食べます。よく似た種が数種類いますが、本種は、前翅頂部にある黄色斑の内側が黒線で縁取られており、その内側にある腎状紋（白紋）の中心に黒点がある点などで区別できます。宮崎県では延岡市、宮崎市からも記録がありますが珍しい種です。



エゾギンモンシヤチホコ

シヤチホコガ科

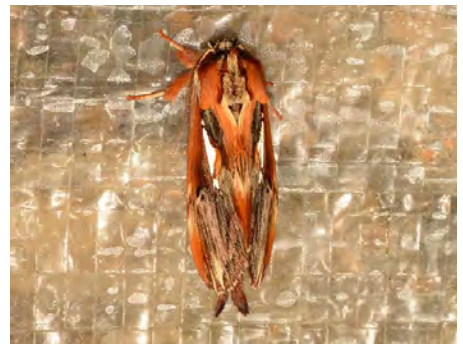
環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Spatialia jezoensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○						

「シヤチホコガ」の名は、幼虫がシヤチホコのような反り返った姿をしていることに由来します。本種は、翅にその名の通り銀色の細長い三角形の紋がある美しい蛾です。日本の固有種で、北海道から九州のブナ帯に生息し、幼虫はブナ、イヌブナを食べます。宮崎県でも本種はブナ帯に依存しており、延岡市、日之影町、椎葉村から記録があり、高千穂町では親父山で記録されています。蛹で越冬し、春と夏に成虫が出現します。



クシヒゲシャチホコ

シャチホコガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Ptilophora nohirae

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○					

北海道から九州に分布しますが、晩秋だ
けに姿を見せるため、なかなか目にする
機会がない貴重な蛾です。宮崎県内では
日之影町、綾町、えびの市、日南市から
記録があります。卵で越冬し、幼虫は6
月頃にカエデ類を食べることが知られて
います。高千穂町では天岩戸で撮影しま
したが、探せば他にも産地が見つかるで
しょう。名前のクシヒゲは、本種のオスの
触覚が櫛ひげのような羽毛状になっていることに由来しています。



ヒメスズメ

スズメガ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 絶滅危惧 II 類

Deilephila askoldensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○							

北海道、本州、九州、朝鮮、シベ
リアに分布します。生息環境は高地
草原で、分布は局地的です。九州
では久住山塊に産地があり、宮崎
県では五ヶ所高原と西米良村から
記録されています。宮崎県レッドデー
タブック 2020 年版において、絶滅
危惧 II 類 (VU-r) に選定されてい
る希少種です。五ヶ所高原の草原
地帯は、本種が生息できる貴重な環境です。幼虫はカワラマツバ、
キバナカワラマツバを食べます。



昆
虫
類

ドクガ類

ドクガ科

環境省 RL : -

トラサンドクガ、ゴマフリドクガ、チャドクガ

宮崎県 RL : -

Euproctis torasan, *Somena pulverea*, *Arna pseudoconsersa*

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○						○	○	○	○				

ドクガ科の蛾には、毒を持つものも持たないものがありますが、ここに挙げたドクガ類は有毒の種です。幼虫が毒針毛を持ち、これが皮膚に触れると激しい皮膚炎を起します。この毒針毛は蛹や成虫、産卵後の卵塊にまで持ち込まれます。日本固有種のトラサンドクガは、五ヶ所高原や久住、阿蘇、北九州平尾台などの九州中央の草原地帯に生息し、どこも減少しています。



(写真左からトラサンドクガ、ゴマフリドクガ、チャドクガ)

ルリモンホソバ

ヒトリガ科

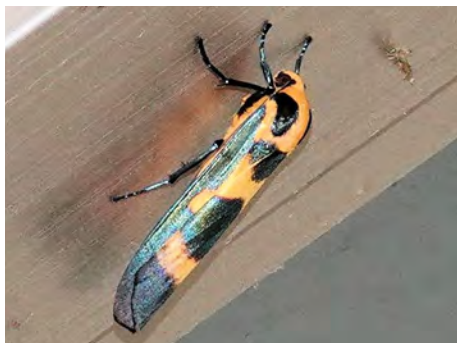
環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Chrysaeglia magnifica taiwana

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○				

その名の通り瑠璃色の斑紋を持つ美しい蛾です。特に新鮮な個体は黄色と瑠璃色のコントラストが美しく、脚も瑠璃色に輝きます。九州南部以南から台湾に分布する南方系の種で、春、夏、秋に年3回発生します。宮崎県レッドデータブック2020年版で準絶滅危惧(NT-g)に選定されていますが、県北では比較的普通に見られ、道の駅高千穂でも夜間灯火に飛来しています。他のホソバ類と同様に、幼虫は地衣類を食べます。



昆虫類

ホシオビコケガ

ヒトリガ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Aemene altaica

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○	○	○				

国内では北海道から屋久島まで分布しています。幼虫は黄色と黒の毒々しい姿をした毛虫ですが毒はありません。コケガという名前前の通り、幼虫は地衣類を食べます。成虫は、翅に碁石のような黒点を並べたかわいらしい小さな蛾です。宮崎県内では延岡市、日之影町、椎葉村、宮崎市、小林市からも記録があるものの、比較的少ない種のように見えます。写真は高千穂神社付近で夜間、灯火に飛来した個体です。



キハダカノコ

ヒトリガ科

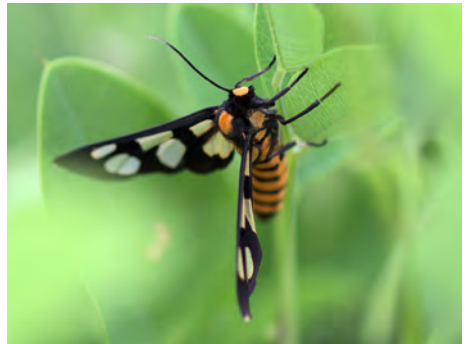
環境省 RL： -

宮崎県 RL： 準絶滅危惧

Amata germana nigricauda

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
							○	○	○							

本州、四国、九州、西表島に分布し、成虫は夏に出現します。幼虫はオニグルミ、ハコネウツギ、シロタエギク、ササ類などを食べます。昼行性で草原を飛び、黄色と黒の縞模様の腹部の見目は、ハチに擬態しているようですが、飛び方は緩やかでハチのようではありません。県内では川南町と、高千穂町のみに生息しています。五ヶ所高原で確認することができました。



昆虫類

スギタニゴマケンモン ヤガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Harrisimemna marmorata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○						

コントラストが美しい色彩を持つ、山地性の蛾です。北海道、本州、四国、九州に分布し、幼虫はオオカメノキを食べることが知られています。宮崎県レッドデータブック2020年版で準絶滅危惧 (NT-r) に選定されており、県内では日之影町、美郷町、椎葉村から記録がありますが珍しい蛾のようです。写真は、高千穂町親父山で記録された個体です。



キリガ類

ヤガ科

環境省 RL : -

カバキリガ、クロミキリガ、ホソバキリガ、シロヘリキリガ、チャイロキリガ

宮崎県 RL : -

Orthosia evanida, *Orthosia lizetta*, *Anorthoa angustipennis*, *Orthosia limbata*, *Orthosia odiosa*

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○	○	○			

ヤガ科のキリガ類は、晩秋から早春といった寒い時期に出現する種が多く、「冬夜蛾」と呼ばれる「冬尺蛾」とともに愛好家も多いグループです。灯火にも飛来します。樹液に集まる習性が強く、個々に工夫した糖蜜を塗布してキリガ類を呼ぶ観察法も行われています。宮崎県内はもちろん高千穂町においてもキリガ類の調査は(時期が冬でもあるため)ほとんど行われておらず、今後初記録や新産地が数多く見つかる期待されます。



左からカバキリガ、クロミキリガ、ホソバキリガ、シロヘリキリガ、チャイロキリガ

ミドリリング

コブガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Clethrophora distincta

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○			○				

本州、四国、九州に分布し、6-10月に出現します。幼虫はアラカシを食べるため、典型的な照葉樹林帯の蛾と言えます。宮崎県においても各地で観察することができます。写真は道の駅高千穂で灯火に飛来した個体です。近似種にアオスジアオリンガやツクシアオリンガがいますが、本種が最も濃い緑色をしています。写真では見えていませんが、



後翅は鮮やかな赤褐色をしています。

キンイロエグリバ

ヤガ科

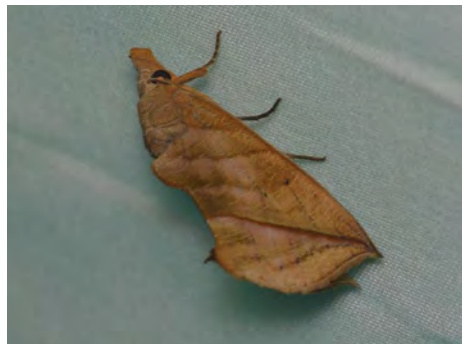
環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Calyptra lata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○						

日本では本州と九州に分布しています。九州では阿蘇山系に広く分布しており、宮崎県では高千穂町のみで記録されています。五ヶ所高原で観察することができます。幼虫はアオツヅラフジ、コウモリカズラを食することが知られています。エグリバという名の通り、えぐられた葉っぱ(枯葉)のような特徴ある翅の形をしており、虫食いの枯葉のように見えます。よく似た近似種が数種類いるので同定には注意が必要です。



よく似た近似種が数種類

ナミハンミョウ

ハンミョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Sophiodela japonica

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
	○	○				○			○							

体長 18-23mm の中型のハンミョウの仲間です。青色、赤色、緑色の美しい光沢があり、大きなあごと長い脚を持ちます。人が近づくと少し飛んですぐに止まるので、「道おしえ」とも呼ばれています。成虫、幼虫ともに肉食で、他の昆虫を捕らえて食べます。人家近くから山地までの裸地、林道、砂地などに生息しています。



キュウシュウクロナガオサムシ オサムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Carabus (Leptocarabus) procerulus miyakei

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○	○	○	○			

体長 25-37mm のオサムシの仲間です。オサムシの仲間は後翅（固い翅の下に折りたたんでいる膜のような翅）が退化して飛べないため、分布が川や山などで隔てられていて、地理的な変異などが見られます。高千穂町では本種のほかに、オオオサムシ、エゾカタビロオサムシ、セアカオサムシ、マイマイカブリ、クロナガオサムシなどが確認されています。本種は秋に繁殖して、幼虫で越冬します。ほかの昆虫の幼虫を食べます。



昆虫類

シマゲンゴロウ

ゲンゴロウ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Hydaticus (Guignotites) bowringii

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○		○		○								

体長 12-14mm の中型のゲンゴロウの仲間です。背中の斑紋と黄色いしま模様が特徴的で美しい種です。お腹は赤褐色です。山地から低山地の植物が豊富なため池や、条件のよい水田や休耕田でも見られます。幼虫は5-7月頃、成虫は8月頃に出できます。夜間に灯火に飛んできます。全国的には減少している種です。



ガムシ

ガムシ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Hydrophilus (Hydrophilus) acuminatus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○		○		○								

体長 33-40mm の大きなガムシの仲間です。同じぐらいの大きさのゲンゴロウと間違えそうになりますが、後脚はゲンゴロウのようにオール形にはなっていません。植物の豊富なため池や休耕田などに生息しています。幼虫は5-7月に確認され、陸上の土の中でさなぎになります。夏に羽化した後、成虫で越冬します。幼虫は巻き貝を食べて、成虫は植物を食べます。かつては普通種でしたが、全国的に減少しています。



センチコガネ

センチコガネ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Phelotrupes (Eogeotrupes) laevistriatus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○	○	○	○		

体長 12.4-21.5mm の丸い形の糞虫の仲間です。糞虫ですが動物の糞だけでなく、腐った動物や植物、キノコなども食べることが知られています。成虫は4-12月頃まで活動します。地域や個体による色彩変異があり、祖母山から阿蘇山にかけての一带では、他の地域では出現しない緑色や明るい藍色の個体が現れ、通称レインボーセンチと呼ばれています。高千穂町では北部の祖母山周辺でレインボーセンチが確認されています。



高千穂町では北部の祖母山周辺でレインボーセンチが確認されています。

ツノクロツヤムシ

クロツヤムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 II 類

Cylindrocaulus patalis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○				

体長 14-20mm。九州と四国の限られた地域のブナ林に生息しています。体は黒色で強い光沢があり、一見するとクワガタムシに似ています。ブナやモミの朽ち木の中でオスとメスと幼虫とが家族で生活しています。成虫は一旦食べた木くずを吐き戻して、幼虫に口移しで与えます。幼虫は8月にはさなぎになり、そのまま朽ち木の中で越冬します。後翅（固い翅の下に折りたたんでいる膜のような翅）が退化していて、飛ぶことができません。



後翅（固い翅の下に折りたたんで）が退化していて、飛ぶことができません。

ミヤマクワガタ

クワガタムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Lucanus maculifemoratus maculifemoratus

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○	○		○	

オス体長^{たいちょう}30-75mm、メス体長^{たいちょう}25-45mmの比較的大きなクワガタムシの仲間です。大型のオスは頭部の張り出し^{おお}が大きくなります。メスには光沢があり、脚に黄褐色の紋があります。オスは全身に、メスは腹面に細かい毛が生えています。クヌギやハルニレなどの樹液^{じゅえき}に集まり、灯火^{とうか}にも飛んできます。高千穂町^{たかちほ}では低山地から山地^{さんち}に生息しています。



ダイコクコガネ

コガネムシ科

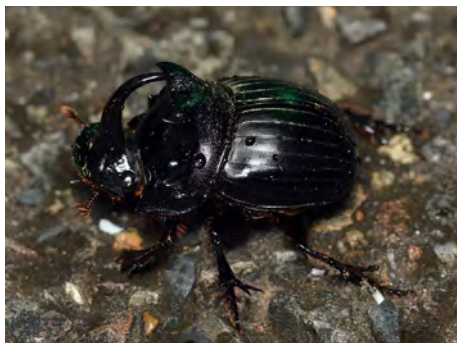
環境省 RL : 絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL : 絶滅危惧 II 類

Copris (Copris) ochus

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○							

体長^{たいちょう}16-31mmの丸い形をした大^おきめの糞虫^{ふんちゅう}の仲間です。成虫は5月中旬^{ちゅうじゅう}から地上での活動^{かつどう}を始め、9月下旬^{げいじゅう}まで見られます。オスとメスのペア^{あたい}は新しい糞^{ふん}の下^{した}に穴^{あな}を掘り、地表^{ちひょう}下^か30cmほどの深さに水平^{すいへい}の細^ほ長い坑道^{こうどう}を作ります。次に坑道^{こうどう}に糞^{ふん}を詰め込んで糞球^{ふんきゅう}を作り、それに産卵^{さんらん}します。主に放牧^{ほうぼく}地の牛馬糞^{ぎゅうばふん}に依存^{いぞん}していますが、牛^{うし}に使う薬^{くすり}の影響^{えいぎょう}により減少^{げんしょう}しています。近年^{きんねん}ではシカ糞^{しかふん}へのエサ転換^{てんかん}も報告^{ほうこく}されています。



昆虫類

コヒゲシマビロウドコガネ コガネムシ科

環境省 RL : -
宮崎県 RL : -

Gastroserica brevicornis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○	○	○	

体長 6-8.5mm の小さなコガネムシの仲間です。黄色っぽい体をしていて、上翅に 4-6 本の黒い線があります。成虫は 5 月から 8 月に見られます。夜間に灯火に集まるほか、林縁部の広葉樹からも採集されることがあります。低い山を中心に生息していますが、標高 1200m くらいまで生息しています。本州、四国、九州に分布しています。



シラホシナガタマムシ タマムシ科

環境省 RL : -
宮崎県 RL : -

Agrilus decoloratus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○					

体長 9-14mm の小さなタマムシの仲間です。タマムシと言えば、玉虫厨子で有名な光沢をもつ「タマムシ（ヤマトタマムシ）」が有名ですが、本種は青みの色をしていて、上翅に 6 個の白色紋があります。平野部から山間部に生息していて、5-8 月にエノキの枯れ木や伐採木に集まります。



オオツヤハダコメツキ

コメツキムシ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Stenagostus umbratilis

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○	○	○	○	○	○	○

体長 15-23mm のやや大きなコメツキムシの仲間です。コメツキムシの仲間は指で持つと「パチンパチン」と音を立てて跳ね上がろうとします。この動きが昔の米をつく（玄米から粳を取り除いて白米にする作業）際の反復作業に似ていることからコメツキムシの名前があります。本種は、上翅に微毛による暗褐色の紋があるのが特徴です。夜間の灯火によく集まります。



ゲンジボタル

ホタル科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Luciola cruciata cruciata

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
○	○			○												

体長 10-18mm の大型のホタルの仲間です。平地から里山の細流付近で見られ、夜間には活発に飞翔し、黄緑色の光でゆっくりと点滅します。幼虫は流れる水の中に生息し、カワニナなどの貝類を食べて成長します。成長した幼虫は、春になると上陸し、川岸の土の中にもぐりこみ、さなぎになります。高千穂峡や山附川周辺で観察することができます。



昆虫類

ハラグロオオテントウ テントウムシ科

環境省 RL：－
宮崎県 RL：絶滅危惧 II 類

Callicaria superba

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○					○		

体長 11-12mm の大型のテントウムシの仲間です。オレンジ色の体に黒い紋が並びます。体の下の腹面が黒いので「ハラグロ」という名前が付いています。クワの木で見られて、クワの木にいるクワキジラミの幼虫を食べています。暖地性の種で、もと西日本に分布していましたが、近年、関東でも確認されています。



ツماغロキゲンセイ ツチハンミョウ科

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Zonitoscema cothurnata

河川		宅地	農地					草地	森林						
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○						

体長 9-15mm で、カミキリムシに似ていますがツチハンミョウの仲間です。同じ仲間にキイロゲンセイという種がいて、一緒に見かけます。生態もキイロゲンセイと似ていて、成虫は7-8月に出現してイヌザンショウなどの花に集まり、夜間に灯火にも飛んできます。幼虫はオオハキリバチの巣に寄生して育ちます。



昆虫類

ムナコブハナカミキリ カミキリムシ科

環境省 RL：－
宮崎県 RL：準絶滅危惧

Xenophyrama purpureum

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○					

体長 15-20mm の中型のカミキリムシの仲間です。体は黒色で、上翅は光沢のない赤色をしています。本種は生態がほとんど知られていませんでしたが、現在ではノリウツギで産卵することが知られています。日中の明るい時間帯はほとんど飛翔せず、オスは夕方や曇り空の時に飛翔します。メスはノリウツギの暗い樹幹上にいることが多いです。高千穂町では五ヶ所高原で記録があります。



高千穂町では五ヶ所高原で記録があります。

ヨコヤマヒゲナガカミキリ カミキリムシ科

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Dolichoprosopus yokoyamai

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○					

体長 25-35mm のやや大型のカミキリムシです。成虫は7-8月に出現し、夜間に灯火に飛来します。ブナの生木を幼虫が食べているため、ブナ天然林の指標になるカミキリムシです。メスは昼間はブナの地際の落ち葉に潜んでいることが多いです。成虫が若いブナにいる場合は、ブナを揺らせば落ちてくることがあります。



昆虫類

ソボリンゴカミキリ

カミキリムシ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Oberea sobosana

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○			

体長 17.5-21.5mm の中型のカミキリムシですが、体は細長い形をしています。成虫は6-7月に出現し、低山地からブナ帯上部に生息しています。成虫はツツジ類やシャクナゲの葉っぱを食べ、幼虫は主幹部に穿入します。幼虫が樹皮下や樹木を食べるため、害虫とされることもあります。名前の「ソボ」は祖母山由来しています。



クロルリトゲハムシ

ハムシ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Rhadinosa nigrocyanea

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○						

体長 4.2-4.5mm の小型のハムシの仲間です。ハムシの仲間は細長いものや丸いものなど様々な形をしています。本種を含むトゲハムシの仲間は、体中がとげ状の突起で覆われています。高千穂町では、ほかにヒメキベリトゲハムシ、ヒゴトゲハムシ、イッシキトゲハムシ、キベリトゲハムシ、クロトゲハムシなどの記録もあります。本種の食草はススキで、成虫は5月から11月に見られ、成虫で越冬します。



イタヤハマキチョッキリ オトシブミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Byctiscus venustus

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○				○		

体長 7-10mm の中型のオトシブミの仲間です。オトシブミとは、葉っぱを切り取って巻く性質を持っているゾウムシのことです。本種は、エンコウカエデ、コハウチワカエデ、オオモミジなどのカエデの仲間の葉っぱを巻き付けて、葉っぱと葉っぱの間に産卵します。羽化した幼虫は、カエデの葉っぱを食べて成長します。



オオゾウムシ

オサゾウムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Sipalinus gigas gigas

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○		○		○		

体長 12-29mm の大型のゾウムシです。ゾウムシ類は口の吻がゾウの鼻のように長く下に伸びていることからこの名前が付いています。本種は平地から山地のクヌギなどの樹液に集まり、灯火にも飛来します。幼虫は枯れたり伐採されたりしたマツやクヌギなどの樹木や切り株に入っ、材部を食べて成長します。体は非常に硬く、でこぼこした外骨格に覆われています。



ニシキンカメムシ

キンカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Poecilocoris splendidulus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○					

日本で最もきれいなカメムシと
られています。本州などでは道路や
公園などに植栽されたツゲでも発生
したことがあります。九州では少
ない種類です。本種が生息している
ことで有名な福岡県嘉麻市の古処
山は、山頂付近にツゲの原生林が
残っており、国の特別天然記念物
に指定されています。宮崎県では、
高千穂町向山で2015年に初めて確認
されました。宮崎県レッドデータ
ブック2020年版で準絶滅危惧に選定
されています。



アカスジキンカメムシ

キンカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Poecilocoris lewisi

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○			○			

金緑色と赤橙色の帯状模様で美しく
彩られています。ニシキンカメムシ
と同じくカメムシの中では珍しく幼虫
で越冬します。針広混交林に生息し
ていますが比較的希な種類で、キ
ブシ、スギやヒノキなど、さまざまな
樹の実で育ちます。宮崎ではキブシ
の実を好んでいるようで、8月下旬
から9月頃にキブシの葉を探すと、
若齢幼虫集団が見つかります。高千穂町では河内、五ヶ所や向山な
どの山里で比較的多く見られます。



イシハラカメムシ

カメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Chalazanotum ishiharai

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
										○						

全国的に個体数が少なく、高千穂町で発見されるまでは、分布は本州と四国のみで九州には生息していませんとされていました。しかし、2017年に高千穂町河内で初めて確認し、その後も毎年同所での発生を確認していますので、高千穂町内に生息しているのは確実です。イシハラカメムシはミツバウツギのみを寄主としますので、ミツバウツギが生えている可能性が大きいです。



東北一帯では広く生息している

ヒメカメムシ

カメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Rubiconia intermedia

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○								

世界的には旧北区に広く分布する北方系のカメムシで、日本では本州と対馬に生息しているとされていた稀な種です。2018年に高千穂町五ヶ所で、草原に生えるススキをビーティングすることで確認しました。成虫で越冬し、夏の間は世代を繰り返します。高千穂町の個体は9月4日に産卵し、10月半ばに羽化するのを確認しましたので、年に3世代を繰り返しているようです。秋に羽化した成虫が冬を越します。



昆虫類

ツマジロカメムシ

カメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Menida violacea

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○					

黒紫色の光沢があり、前胸背後半に白斑のあるきれいなカメムシです。

ノリウツギ、フジ、クヌギ、アザミなど多くの植物に寄生します。県内に広く分布していますが、県央県南での個体数は少なく、県北山地に数が多いです。特に五ヶ所高原では多産し、5月頃はフジなどの花に、10月はアザミなどの花で多数の個体が吸汁しています。



ツノアオカメムシ

カメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Pentatoma japonica

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○					

緑色の金属光沢があり、前胸背の角が突出している精悍できれいなカメムシです。北方系の種類で、県内では標高の高い山間部に生息していますが、個体数は少なくありません。高千穂町内では五ヶ所、向山、上野で確認しています。成虫は捕食性のアオクチブトカメムシに似ていますが、口吻の太さが違うので、見分けることができます。夜間、



灯火にも飛来します。

ミツボシツチカメムシ

ツチカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Adomerus triguttulus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○	○							

小楯板の先端と革質部に1対の合計3つの白い紋がある小さいカメムシです。主にオドリコソウに寄生し、5月の里山の風景に溶け込むかわいいツチカメムシです。母虫は土を浅く掘って巣を造り、その中に産卵して、卵塊を体で保護します。幼虫は巣の近くに落下しているオドリコソウの種子を吸汁して育ちます。田原地区の道路沿いにはオドリコソウの群落が所々に生えており、ミツボシツチカメムシの重要な生息地になっています。



ベニツチカメムシ

ツチカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Parastrachia japonensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
										○	○					

紅色に大きな黒紋のあるきれいな種です。ポロポロノキが生える樹林内に生息しています。子育てをする昆虫として有名で、母虫は地面に巣を造り、ポロポロノキの実を巣まで運び、子どもに与えます。帰巣するためのナビゲーション能力を備えたり、オスとメスが同じ方向を向いて交尾するなど、興味深い生態を持っています。高千穂町では、向山、田原や五ヶ所などの里山で見られます。



昆虫類

オオツノカメムシ

ツノカメムシ科

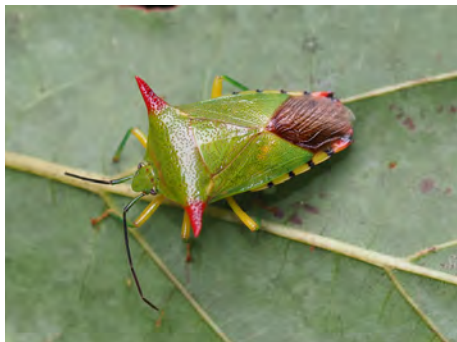
環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Menida violacea

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○						

緑が鮮やかで、赤くて鋭い角が目立つ大きくてきれいなツノカメムシです。本州・四国と九州に分布しており、宮崎県内でも確認されていますが、個体数は少ないです。最近、町内のケンボナシで成虫や幼虫が見つかりました。他のツノカメムシと同じように母虫が卵や若齢幼虫の保護をすることも知られています。



ヒメアオモンツノカメムシ

ツノカメムシ科

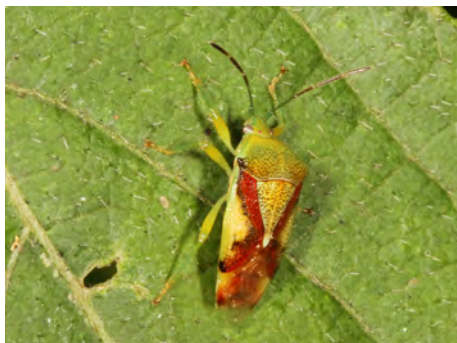
環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Elasmostethus rotundus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
										○						

北方系のツノカメムシで、北海道以外では山地性となります。県内では椎葉村大河内や大崩山系などの高標高地帯に生息しており、高千穂町内では五ヶ所で確認しています。南方系のアオモンツノカメムシに似ていますが、背中の赤いX字上の紋が特徴的です。ウドやハリギリを寄主としており、夜間は灯火にも飛来します。



ヨツモンカメムシ

クヌギカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Urochela quadrinotata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
										○						

北方系の種類でニレ科植物を寄主として見られます。県内ではハルニレで見られます。成虫で越冬後、交尾し、ゼリー状物質で覆われた卵塊を産みます。個体数は少ないですが、高千穂町では町内に広く分布しています。河内のハルニレではシートテハが産卵した同じ樹で交尾をしました。ハルニレはシートテハやカラスジミなどのチョウも食樹としてい



大事にしたい樹の一つです。

キエリフタモンカスミカメ

カスミカメ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Adelphocoris reichelii

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○								

北方系の種で、県北の草原に生息しています。エリの部分が黄色で縁どられるきれいなカスミカメです。ハギなどのマメ科植物を寄主としていますが、他の花でも吸汁していることも多いです。高千穂町内では、五ヶ所高原に個体数が多いですが、他の場所ではまだ見たことがありません。



ハリサシガメ

サシガメ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 情報不足

Acanthaspis cincticrus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○							

捕食性カメシの仲間である乳白色の逆ハの字が目立つサシガメです。アリをえさとし、幼虫がえさにしたアリの死骸を背負うことでも有名です。全国的にも局地的な分布を示す個体数の少ない種類で、宮崎県内では高千穂町五ヶ所でのみ確認されています。石が見えるような少し荒れた草地を歩いていることが多いです。環境省レッドリストで準絶滅危惧、宮崎県レッドデータブック 2020 年版で情報不足に選定されています。



環境省レッドリストで準絶滅危惧、宮崎県レッドデータブック 2020 年版で情報不足に選定されています。

タガメ

コオイムシ科

環境省 RL : 絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Kirkaldyia deyrolli

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○	○			○								

日本最大のカメシです。かつては水田などにも多く見られ、小魚やカエルを捕食する食物連鎖の最上位にいました。他の水生昆虫に比べて農薬の影響を最も大きく受ける種で、最近ほとんど見られなくなりましたが、2015 年に五ヶ所で民家へ飛来した個体が採集されました。環境省レッドリストで絶滅危惧 II 類に、宮崎県レッドデータブック 2020 年版で絶滅危惧 IB 類に選定されています。



環境省レッドリストで絶滅危惧 II 類に、宮崎県レッドデータブック 2020 年版で絶滅危惧 IB 類に選定されています。

昆虫類

コガタアワフキ

アワフキムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Aphrophora obtusa

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
								○								

北方系の種で、体長が約12mmと比較的小型で茶褐色の地味なアワフキです。宮崎県内では五ヶ所高原以外からの記録はありませんが、五ヶ所高原には比較的多くのコガタアワフキが生息しています。北海道や本州に産するものは前翅後縁の白色紋が目立ちますが、五ヶ所高原の個体は紋が薄くなり目立たないものが多いです。オトコヨモギなどのキク科植物を寄主としています。



アヤヘリハネナガウンカ

ハネナガウンカ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Losbanosia hibarensis

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○		○					

前翅後縁が波状となる少し大きめのきれいなウンカです。葉などに止まっていると、長い翅が目につくので見つけやすいです。本州・四国・九州に広く分布していますが、個体数は少ないです。県内では都城市、延岡市と高千穂町で記録があり、高千穂町では向山秋元で確認しています。似た種にシリアカハネナガウンカなどがいますが、アヤヘリハネナガウンカは翅の後縁が波状になっていることで、違いが分かります。



昆虫類

セトウチマイマイ

ナンバンマイマイ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Euhadra subnimbosa

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○		○			

殻高 18.5mm、殻径 30.0mm 程度の中型のマイマイです。形は低い円錐形です。山地の照葉樹林の樹幹に生息しています。暖かい時期には、雨の後などに林内を這い回っている姿が見られます。高千穂神社の裏山にもいます。殻の色は黄褐色で、濃褐色の筋（色帯）があり、表面には少し光沢があります。軟体の色は黒で、背面に白い筋が入るものもいます。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では北部のみ分布しています。



くろくろはいめんしろすじはい
軟体の色は黒で、背面に白い筋が入るものもいます。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では北部のみ分布しています。

コベソマイマイ

ナンバンマイマイ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Satsuma myomphala myomphala

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○			

殻高 25mm、殻径 25mm 程度の大型のマイマイです。形は丸みを帯びた円錐形で、市街地から山地までの照葉樹の落ち葉の下に生息しています。暖かい時期には、雨の後などに林内を這い回っている姿が見られます。高千穂神社の裏山にもいます。殻をひっくり返したとき、裏の中心にある穴（ヘソ）がないか小さいのでコベソマイマイという名前がついています。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



なまえ
小さいのでコベソマイマイという名前がついています。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。

貝類

イロアセオトメマイマイ ナンバンマイマイ科

環境省 RL： -
宮崎県 RL： 保護上重要種

Aegista collinsoni casta

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○			

殻高 8.5mm、殻径 12.3mm 程度の小型のマイマイです。形は丸みを帯びた低い円錐形です。低地から山地までの照葉樹林の樹幹や葉上に生息しています。暖かい時期には、雨の後に林内を這い回っている姿が見られます。殻は薄く淡黄色半透明で、殻の周縁には筋(色帯)があり、表面には少し光沢があります。個体によっては周縁の色帯がないものもあります。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



シメクチマイマイ ナンバンマイマイ科

環境省 RL： -
宮崎県 RL： -

Satsuma (Satsuma) ferruginea

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○			

殻高 10.8mm、殻径 14.0mm 程度の小型のマイマイです。形は丸みを帯びた円錐形です。低い山から高い山までの照葉樹林の落ち葉の下に生息しています。暖かい時期には、雨の後に林内を這い回っている姿が見られます。殻は淡褐色から褐色ですが、軟体が黒いため生きているときは黒く見えます。ルーペで観察すると殻の表面には毛状の突起物がたくさん見られます。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



貝類

ダコスタマイマイ

ナンバンマイマイ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Aegista dacostae dacostae

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○			

殻高 7.9mm、殻径 11.2mm 程度の小型のマイマイです。形は丸みを帯びた低い円錐形です。人家付近から高い照葉樹林まで生息しています。暖かい時期には、雨の後に林内を這い回っている姿が見られます。殻は淡黄褐色の地に褐色の太い色帯があり、染め分けています。下部の色帯の色は薄いものから濃いものまで変化があります。軟体は黄色みを帯びた灰色や灰黒色です。九州南部に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



へんか 軟体は黄色みを帯びた灰色や灰黒色です。九州南部に分布します。宮崎

ウスカワマイマイ

ナンバンマイマイ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Acusta despecta sieboldiana

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○			

殻高 21.2mm、殻径 24.8mm 程度の小型のマイマイです。形は丸みを帯びた円錐形です。花壇や市街地の草むらや畑に生息します。最もよく見かけるカタツムリの一つです。暖かい時期には、雨の後にブロック塀などを這い回っている姿が見られます。殻は淡黄褐色で薄く、内部の軟体のまだら模様が透けて見え、淡黄色から黒色、まだら模様など変化に富んでいます。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



たんのうしよく 軟体のまだら模様が透けて見え、淡黄色から黒色、まだら模様など

ツクシマイマイ

ナンバンマイマイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Euhadra herklotsi

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○			

殻高 21.0mm、殻径 37.6mm 程度の大型のマイマイです。形は低い円錐形です。人家付近から標高の高い山地まで生息します。宮崎県で一番大きなカタツムリです。暖かい時期には、樹幹を這っている姿が見られ、高千穂神社の裏山でも見られます。殻は宮崎県では全体的に褐色のものが多く、オオヒュウガマイマイと呼ばれています。九州・山口・愛媛に分布します。宮崎県では県北部を中心に分布しています。



よばれています。九州・山口・愛媛に分布します。宮崎県では県北部を中心に分布しています。

アズキガイ

アズキガイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Pupinella (Pupinopsis) rufa

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○			

殻高 11.1mm、殻径 5.1mm 程度の小型のカタツムリで、ふたを持っています。人家から標高の高い山地まで生息します。色や形がアズキに似ているのでこの名前がついています。人家でときどき大発生することがあります。人の目につきやすいカタツムリです。暖かい時期には、雨の後にブロック塀を這っている姿が見られます。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。殻の色が白いアルビノも見られます。



ヤマタニシ

ヤマタニシ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Cyclophorus herklotsi

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○			

殻高 17.8mm、殻径 20.0mm 程度の小型のカタツムリで、ふたを持っています。形は円錐形です。人家付近から標高の高い山地まで生息します。色や形が田んぼに住むタニシに似ているのでこの名前がついています。人の目につきやすいカタツムリの一つです。殻は厚く堅固です。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。たまに殻の模様がないものもいます。



ヤマクルマガイ

ヤマタニシ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Spirostoma japonicum

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○			

殻高 7.1mm、殻径 13.4mm 程度の小型のカタツムリで、ふたを持っています。ふたは円錐形でとんがり帽子に似た形です。人家付近から標高の高い山地まで生息します。人の目につきやすいカタツムリの一つです。殻は厚く堅固です。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。海に棲むクルマガイに形が似ていて、山に棲んでいるのでヤマクルマガイという名前がついています。



オカチョウジガイ

オカクチキレガイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Allopeas kyotoense

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域		公園	ため池	水路	湿地	畑		水田	林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○							○	○	○	○				

大きいもので殻高9.4mm、殻径3.3mm程度の小型のカタツムリです。人家の庭から標高の高い山地まで生息します。庭の植木鉢の下に潜んでいることも多いので、人の目につきやすいカタツムリの一つです。殻は薄く半透明なので、体の中の卵が透けて見えます。軟体は黄色です。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。海に棲むチョウジガイに形が似ていて、陸に棲んでいるのでこの名前がついています。



シリオレギセル

キセルガイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Megalophaedusa (Tyranophaedusa) bilabrata

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域		公園	ため池	水路	湿地	畑		水田	林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○				

殻高27.3mm、殻径6.1mm程度の小型のカタツムリで、中型のキセルガイです。低山から標高の高い山地まで生息し、数は多いですが倒木の下などに隠れているので見つけにくいです。殻は褐色で棍棒型です。成長すると写真のように殻頂部分が白くなります。この部分がやがて欠け落ちる「尻が折れる」のでシリオレギセルの名前がついています。軟体は白色半透明です。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



貝類

タケノコギセル

キセルガイ科

環境省 RL：絶滅危惧 I 類

宮崎県 RL：絶滅危惧 IB 類

Stereophaedusa (Mesophaedusa) elongata

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○			

かくこう 殻高 27.9mm、かくけい 殻径 4.7mm 程度の小型のカタツムリで、中型のキセルガイです。石灰岩地であれば低山から標高の高い山地まで生息します。数が少ないので環境省レッドリストで最も絶滅が危惧されるランクに指定されています。殻は褐色で棍棒型です。竹の子のように細長いのでこの名前がついています。軟体は淡褐色から灰白色です。宮崎県北部と大分県南部に分布します。宮崎県では高千穂町と日之影町にのみ分布しています。



キセルガイモドキ

キセルガイモドキ科

環境省 RL：－

宮崎県 RL：－

Mirus reinianus

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○			

かくこう 殻高 25.0mm、かくけい 殻径 6.1mm 程度の小型のカタツムリです。低山から高山までの照葉樹林の樹幹に生息しています。殻は濃褐色で紡錘形です。キセルガイに似ているのでキセルガイモドキという名前がついています。キセルガイは左巻きですがキセルガイモドキは右巻きです。軟体は褐色から濃褐色です。本州・四国は県内全域に分布しています。



九州に分布します。宮崎県で

ヤマナメクジ

ナメクジ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Meghimatium fruhstorferi

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○	○	○				

大ききいものでは長さが150mm程度の巨大なナメクジです。低山から高山までの照葉樹林の落ち葉の下や倒木の下、木の洞などに生息しています。軟体は背面では淡褐色と褐色のまだら模様で、両側に濃褐色の太い帯があります。軟体の表面は粘液で覆われているので、乾燥から身を守ることができます。側面の右側前部に呼吸をするための穴が開いています。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



側面の右側前部に呼吸をするための穴が開いています。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。

マルシタラガイ

シタラ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Parasitala reinhardtii

河川		宅地 公園	農地					草地	森林							
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○	○	○				

殻高4.8mm、殻径5.1mm程度の微小なカタツムリです。低山から高山までの照葉樹林の低木の葉裏などに生息しています。高千穂神社の裏山でも見ることができます。殻は淡黄褐色で薄く透明です。軟体は黄色みを帯びた灰色で半透明なので触角の根元付近では内臓の赤い部分が透けて見えます。本州・四国・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



貝類

レンズガイ

ベッコウマイマイ科

環境省 RL：絶滅危惧 II 類

宮崎県 RL：準絶滅危惧

Otiosiopsis japonica

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○			

殻高 8.1mm、殻径 13.9mm 程度の小型のカタツムリです。低山から高山までの照葉樹林の落ち葉の下に生息しています。殻は淡褐色で薄く透明なので軟体のまだら模様が透けて見えます。殻が凸レンズ状の形をしているので、レンズガイという名前がついています。軟体は黄色みを帯びた灰白色半透明です。そのため触角の根元付近では内臓の赤い部分が透けて見えます。本州・九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



テラマチベッコウ

ベッコウマイマイ科

環境省 RL：準絶滅危惧

宮崎県 RL：準絶滅危惧

Bekkochlamys teramachii

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○			

殻高 10.3mm、殻径 18.6mm 程度の小型のカタツムリです。低山から高山までの照葉樹林の落ち葉の下に生息しています。殻は淡褐色で薄く透明なので軟体が透けて見えます。ベッコウマイマイの名前の由来は、殻がベッコウ色だからです。殻は写真でも少し分かるように軟体の一部（外套膜）で殻を覆っているため、殻はいつも美しく保たれています。南九州に分布します。宮崎県では県内全域に分布しています。



タカチホムシオイ

ムシオイガイ科

環境省 RL : 絶滅危惧 I 類

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Chamalycaeus nishii

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○	○	○				

かくこう 殻高 2.4mm、かくけい 殻径 4.0mm 程度の微小なカタツムリです。ていど 低山から高山までの石灰岩地の落ち葉の下に生息しています。殻は白色でふたをもっています。ムシオイというのは「虫負い」のことで、殻の上部に、虫のような管の部分があり、虫を背負ったように見えるからです。タカチホは「高千穂町」の名前が付けられたものです。みやまき 宮崎県・熊本県・大分県に分布します。みやまき 宮崎県では県北に分布しています。



ヤマキサゴ

ヤマキサゴ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Waldemaria japonica

河川		宅地	農地					草地	森林							
水域	陸域	公園	ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	針葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	伐跡
									○	○	○	○				

かくこう 殻高 8.0mm、かくけい 殻径 10.9mm 程度の小型のカタツムリです。ていど 低山から高山までの石灰岩地の落ち葉の下や草地に生息しています。殻は丸みを帯びた低い円錐形で、厚く堅固です。殻の色は橙色と黄色があり、ふたを持っています。軟体は真っ黒です。ほんしゅう 本州・四国・九州に広く分布しますが、みやまき 南九州では産地も個体数も非常に少なく、みやまき 宮崎県では高千穂町で1ヶ所、日之影町で2ヶ所の合計3ヶ所で見つかっていません。



貝類

参考文献

- 秋田勝己・益本仁雄, 2016. 月刊むし・昆虫大図鑑シリーズ9 日本産ゴミムシダマシ大図鑑. むし社, 東京.
- 阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明, 1994. 日本の哺乳類. 東海大学出版会, 東京.
- 阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明, 2005. 日本の哺乳類 [改訂版]. 東海大学出版会, 東京.
- 石川忠・高井幹夫・安永智秀, 2012. 日本原色カメムシ図鑑—陸生カメムシ類 Terrestrial Heteropterans—第3巻. 全国農村教育協会, 東京.
- 石川忠, 2016. サンガメ科・PENTATOMORPHA, 日本昆虫目録第4巻 準新翅類. 439-507. 日本昆虫学会, 東京.
- 井上大輔・中島淳企画編集, 2009. 福岡県の水生昆虫図鑑. 福岡県北九州高等学校校魚部, 福岡.
- 井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛・大和田守, 1982. 日本産蝶類大図鑑. 講談社, 東京.
- 猪又敏男・植村好延・矢後勝也・神保宇嗣・上田恭一郎, 2013. 日本昆虫目録第7巻 鱗翅目 (セリチョウ上科—アゲハチョウ上科). 日本昆虫学会, 東京.
- 今坂正一監修・岩崎郁雄編, 2020. 宮崎県昆虫目録. 宮崎昆虫調査研究会, 宮崎.
- 岩槻邦男編, 1992. 日本の野生植物シダ. 平凡社, 東京.
- 上野俊一・黒沢良彦・佐藤正孝, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (II). 保育社, 東京.
- 内山りゅう・前田憲男・沼田研一・関慎太郎, 2002. 日本の両生爬虫類. 平凡社, 東京.
- 梶真史編, 2013. ポケット図鑑日本の昆虫1400②トンボ・コウチュウ・ハチ. 文一総合出版, 東京.
- 岡島秀治・荒谷邦雄監修, 2012. 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 学研, 東京.
- 環境省自然環境局野生生物課少種保全推進室, 2015. レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—
- 8 植物 I (維管束植物). ぎょうせい, 東京.
- 北村四郎・村田源・堀勝, 1957. 原色日本植物図鑑 草本編 1. 平凡社, 東京.
- 北村四郎・村田源, 1961. 原色日本植物図鑑 草本編 2. 平凡社, 東京.
- 北村四郎・村田源・小山鐵夫, 1964. 原色日本植物図鑑 草本編 3. 平凡社, 東京.
- 黒沢良彦・久松定成・佐々治寛之, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (III). 保育社, 東京.
- コウモリの会編, 2011. コウモリ識別ハンドブック改訂版. 文一総合出版, 東京.
- 小松孝寛, 1992. Butterfly Watching—延岡と富士を結ぶもの—. 耕文社, 東京.
- 小松孝寛, 2016. 宮崎県の陸生カメムシ. 黒潮文庫, 宮崎.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・互理俊次・富成忠夫編, 1982. 日本の野生植物 草本 I 単子葉類. 平凡社, 東京.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・互理俊次・富成忠夫編, 1982. 日本の野生植物 草本 II 離弁花類. 平凡社, 東京.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・互理俊次・富成忠夫編, 1981. 日本の野生植物 草本 III 合弁花類. 平凡社, 東京.
- 白水隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 学習研究社, 東京.
- 高野伸二, 2008. フィールドガイド日本の野鳥増補改訂版. 日本野鳥の会, 東京.
- 高千穂町, 2021. 高千穂町自然環境調査報告書.
- 長田武正, 1976. 原色日本帰化植物図鑑. 平凡社, 東京.
- 長田武正, 1989. 日本イネ科植物図譜. 平凡社, 東京.
- 中村豊・井上伸之・福島英樹, 2015. みやざきの野鳥図鑑. 鉦脈社, 宮崎.
- 西邦雄・西浩孝, 2018. 宮崎県のカタツムリ. 黒潮文庫, 宮崎.
- 日本野鳥の会宮崎県支部監修・高千穂町農林振興課企画編集, 2005. たかちほの野鳥. 高千穂町.
- 林匡夫・木元新作・森本桂, 1984. 原色日本甲虫図鑑 (IV). 保育社, 東京.
- 林正美・宮本正一, 2005. 半翅目 Hemiptera. 川合禎次・谷田一三編, 日本産水生昆虫 科・属・種への検索, pp. 291–378. 東海大学出版会, 秦野.
- 林正美・税所康正, 2011. 日本産セミ科図鑑. 誠文堂新光社, 東京.
- 東正雄, 1995. 原色日本陸産貝類図鑑増補改訂版. 保育社, 東京.
- 日高敬隆監修・川道武男編集, 1996. 日本動物大百科 第1巻 哺乳類 I. 平凡社, 東京.
- 平田正一, 1984. 宮崎県植物誌. 宮崎日日新聞社, 宮崎.
- 福田晴夫・浜栄一・葛谷健・高橋昭・高橋真弓・田中蕃・田中洋・若林守男・渡辺康之, 1982. 原色日本蝶類生態図鑑 (I). 保育社, 東京.
- 福田晴夫・浜栄一・葛谷健・高橋昭・高橋真弓・田中蕃・田中洋・若林守男・渡辺康之, 1983. 原色日本蝶類生態図鑑 (II). 保育社, 東京.
- 福田晴夫・浜栄一・葛谷健・高橋昭・高橋真弓・田中蕃・田中洋・若林守男・渡辺康之, 1984. 原色日本蝶類生態図鑑 (III). 保育社, 東京.
- 福田晴夫・浜栄一・葛谷健・高橋昭・高橋真弓・田中蕃・田中洋・若林守男・渡辺康之, 1984. 原色日本蝶類生態図鑑 (IV). 保育社, 東京.
- Mammal Society of Japan, 2015. The Wild Mammals of Japan, Second Edition. SHOUKADOH Book Sellers, Kyoto.
- 松井孝爾, 1985. 日本の両生類・爬虫類. 小学館, 東京.
- 宮崎県, 2005. みやざきの野鳥. 鉦脈社, 宮崎.
- 宮崎県版レッドデータブック改訂検討委員会, 2011. 改訂宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物.
- 宮崎県環境森林部自然環境課.
- 茂木透写真, 高橋秀男・勝山輝男監修, 2000. 山溪ハンディ図鑑 3樹に咲く花 離弁花①. 山と溪谷社, 東京.
- 茂木透写真, 高橋秀男・勝山輝男監修, 2000. 山溪ハンディ図鑑 4樹に咲く花 離弁花②. 山と溪谷社, 東京.
- 茂木透写真, 高橋秀男・勝山輝男監修, 2001. 山溪ハンディ図鑑 5樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物. 山と溪谷社, 東京.
- 森本桂・林長閑, 1986. 原色日本甲虫図鑑 (I). 保育社, 東京.
- 森本桂監修, 2007. 新訂原色昆虫大図鑑 第2巻 (甲虫篇). 北隆館, 東京.

和名さくいん

あ	アオゲラ	34	コガタアワフキ	95	ニホントカゲ	52		
	アオサギ	32	コガタブチサンショウウオ	47	ニホンノウサギ	26		
	アオダイショウ	54	コゲラ	34	ニホンヒキガエル	49		
	アオバト	31	コジュケイ	46	ニホンマムシ	56		
	アカギツネ	27	コヒゲシマビロウドコガネ	82	ニホイヤモリ	52		
	アカスジキンカメムシ	88	コベソマイマイ	96	ニリンソウ	17		
	アカネズミ	25	ゴマシジミ	58	ネグロトガリバ	70		
	アカハライモリ	49	ゴマフリドクガ	74				
	アキノキリンソウ	4						
	アズキガイ	99						
	アズマイチゲ	4						
	アヤヘリハネナガウンカ	95	さ	サイヨウシャジン	11	は	ハガクレツリフネ	17
	イカル	44		シータテハ	67		ハシブトガラス	36
	イシハラカメムシ	89		シコクフクジュソウ	11		ハラゴロオオテントウ	84
	イタヤハマキチョッキリ	87		シシウド	12		ハリサシガメ	94
	イチイガシ	5		シジュウカラ	37		ハルリンドウ	18
	イチリンソウ	5		シマカンギク	12		ヒナコウモリ	24
	イロアセトメマイマイ	97		シマゲンゴロウ	79		ヒバカリ	55
	ウグイス	39		シマヘビ	55		ヒメアオモンツノカメムシ	92
	ウスカワマイマイ	98		ジムグリ	54		ヒメカメムシ	89
	ウチワダイモンジソウ	6		シメクチマイマイ	97		ヒメキマダラヒカゲ	63
	ウラゴマダラシジミ	61		ジャノメチョウ	96		ヒメクチバスズメ	71
	ウラジロミドリシジミ	60		ジョウビタキ	42		ヒメシロチョウ	58
	エゾギンモンシャチホコ	72		シラホシナガタマムシ	82		ヒメスズメ	73
エナガ	39		シリオレギセル	101		ヒメノコメエダシヤク	71	
エビネ	6		シロバナタンポポ	13		ヒメユリ	18	
オオアヤトガリバ	69		シロハラ	40		ヒヨドリ	38	
オオイタサンショウウオ	47		シロヘリキリガ	76		ヒロヘリアオイラガ	68	
オオウラギンヒョウモン	59		スギタニゴマケンモン	76		ブナ	19	
オオゾウムシ	87		スジグロチャバネセセリ	65		ベッコウサンショウウオ	48	
オオツノカメムシ	92		スジボソヤマキチョウ	57		ベニツチカメムシ	91	
オオツヤハダコムツキ	83		スズタケ	13		ホオアカ	45	
オオノコメエダシヤク	71		スズメ	43		ホオジロ	45	
オオムラサキ	57		セトウチマイマイ	96		ホシオビコケガ	75	
オオルリ	42		センチコガネ	80		ホシミスジ	63	
オカチョウジガイ	101		ソウシンチョウ	46		ホソバキリガ	76	
オソドリ	30		ソボサンショウウオ	48		ホトトギス	32	
オナガシジミ	62		ソボリンゴカミキリ	86				
オミナエシ	7							
か	カケス	36	た	ダイコクコガネ	81	ま	マルシタラガイ	103
	カジカガエル	51		タカサゴツマキシャチホコ	72		ミカドアゲハ	60
	カノコソウ	7		タカチホガラシ	14		ミズナラ	19
	カバキリガ	76		タカチホヘビ	53		ミツボシツチカメムシ	91
	ガムシ	79		タカチホムシオイ	105		ミドリリンガ	77
	カワネズミ	24		タガメ	94		ミヤマカラスシジミ	66
	カワラナデシコ	8		タケノコギセル	102		ミヤマクワガタ	81
	カワラヒワ	44		タゴガエル	50		ムササビ	26
	キエリフタモンカスミカメ	93		ダコスタマイマイ	98		ムナコブハナカミキリ	85
	キオビトビノメイガ	69		タヌキ	27		メジロ	35
	キジ	30		チャイロキリガ	76		モズ	40
	キジバト	31		チャドクガ	74		モミ	20
	キスミレ	8		ツガ	14		モロツカウミズザクラ	20
	キセキレイ	43		ツクシアケボノツツジ	15			
	キセルガイモドキ	102		ツクシアザミ	15	や	ヤブカンゾウ	21
	キハダカノコ	75		ツクシシオガマ	16		ヤマアカガエル	50
	キバネセセリ	61		ツクシシヤクナゲ	16		ヤマカガシ	56
	キマダラモドキ	64		ツクシシマイマイ	99		ヤマガラ	37
	キューシュウクロナガオサムシ	78		ツクシ	41		ヤマキサゴ	105
	キレンゲショウマ	9		ツノアオカメムシ	90		ヤマクルマガイ	100
	ギンイチモンジセセリ	64		ツノクロツヤムシ	90		ヤマジャクヤク	21
	キンイロエグリバ	77		ツバメ	38		ヤマタニシ	100
	クシヒゲシャチホコ	73		ツマゴロキゲンセイ	84		ヤマトスジグロシロチョウ	65
	クマガイソウ	9		ツマジロカメムシ	90		ヤマナメクジ	103
クマタカ	33		テラマチベッコウ	104		ヤマネ	25	
クモガタヒョウモン	67		トノサマガエル	51		ヤマホトトギス	22	
クロシジミ	59		トビ	33		ユウスゲ	22	
クロテンフユシヤク	70		トラサンドクガ	74		ヨコヤマヒゲナガカミキリ	85	
クロミドリシジミ	62					ヨツモンカメムシ	93	
クロミミキリガ	76		な	ナミハンミョウ	78	ら	リュウキュウサンショウウイ	35
クワリトゲハムシ	86			ニシキキンカメムシ	88	わ	リンドウ	23
ケシロヨメナ	10			ニホンアナグマ	29		ルリイロスカシクロバ	68
ケヤキ	10			ニホンイタチ	28		ルリヒタキ	41
ゲンジボタル	83			ニホンカナヘビ	53		ルリモンホソバ	74
				ニホンカモシカ	29		レンズガイ	104
				ニホンテン	28		ワレモコウ	23



祖母・傾・大崩 ユネスコエコパーク

高千穂町は、大分県・宮崎県及び佐伯市・竹田市・豊後大野市・日之影町・延岡市と連携し、祖母傾山系及び大崩山を中心とした地域をユネスコエコパークとして登録するための取り組みを行い、平成 29 年 6 月 14 日に祖母・傾・大崩ユネスコエコパークとして登録されました。

ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的として、1976 年にユネスコが開始した事業です。「世界遺産」が手つかずの自然を守ることを原則とする一方、ユネスコエコパークは自然と人間社会の共生が目的となっています。世界での登録総数は 134 カ国 738 地域です。日本では 10 地域が登録されています。(2022 年 6 月現在)

それぞれのマークには、こんな意味があります。



川と水 祖母のS



特別天然記念物 ニホンカモシカ

山と渓谷 傾のK

守り継承する心 大崩のO

4 つのマークを囲む六角形は登録された6市町を意味し、優しく包み込むことで自然と人の共生を表しています。

執筆者 (文・写真)

延岡市 SATOYAMA 保全推進会議 生物多様性調査専門委員会
専門アドバイザー

(植 物) 成迫 平五郎

(哺乳類) 岩切 康二

(鳥 類) 稲田 菊雄

(両生類・爬虫類) 末吉 豊文

(貝 類) 西 邦雄

(昆虫チョウ類) 安本 潤一

(昆虫ガ類) 柳田 恒一郎、岩切 康二、小松 孝寛

(昆虫コウチュウ類) 岩切 康二、小松 孝寛

(昆虫カメムシ類) 小松 孝寛

写真協力

(哺乳類：カワネズミ) 中村 豊、(昆虫カメムシ類：オオツノカメムシ) 八木真紀子

編集協力：岩切環境技研株式会社

表紙デザイン：ユウトモ

たかちほ動植物ガイドブック

高千穂町に生息するいきものたち

2022年11月1日初版第1刷発行

編 集：延岡市 SATOYAMA 保全推進会議

発 行：高千穂町役場総合政策課

〒882-1192 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井 13

TEL (0982) 73-1260



表紙は複数の写真を組み合わせて1枚の絵を作るフォトパッシュという技法により作成されました。高千穂町に生息しているいきものたちの多様性を表現しています。